

共 通 教 育 科 目

宗教科目

科目コード	授 業 科 目	開講形態	単位	年次	担 当 者	備 考
00001	宗教論 [MT・MM] 1	春学期	2	1	SELAND John	
00002	宗教論 [MT・MM] 2	春学期	2	1	SWANSON Paul	
00003	宗教論 [MT・MM] 3	春学期	2	1	渡 邊 学	
00005	宗教論 [P P] 1	秋学期	2	1	五百旗頭 博治	
00006	宗教論 [P P] 2	秋学期	2	1	SELAND John	
00007	宗教論 [P P] 3	秋学期	2	1	SWANSON Paul	
00008	宗教論 [P P] 4	秋学期	2	1	渡 邊 学	
00020	宗教論 [再]	夏期前半	2	2~4	鳥 巢 義 文	
00101	キリスト教概論 [MT・MM] 1	春学期	2	2	SELAND John	
00102	キリスト教概論 [MT・MM] 2	春学期	2	2	山 田 望	
00103	キリスト教概論 [MT・MM] 3	春学期	2	2	VOLPE Angelina	
00104	キリスト教概論 [MT・MM] 4	春学期	2	2	江 川 憲	
00106	キリスト教概論 [P P] 1	秋学期	2	2	SELAND John	
00107	キリスト教概論 [P P] 2	秋学期	2	2	山 田 望	
00108	キリスト教概論 [P P] 3	秋学期	2	2	VOLPE Angelina	
00109	キリスト教概論 [P P] 4	秋学期	2	2	江 川 憲	
00120	キリスト教概論 [再]	春学期	2	3~4	江 川 憲	

「人間の尊厳」科目

科目コード	授 業 科 目	開講形態	単位	年次	担 当 者	備 考
00501	人間の尊厳(聖書の人間像) 1	春学期	2	2~4	岡 崎 才 蔵	
00502	人間の尊厳(聖書の人間像) 2	秋学期	2	2~4	岡 崎 才 蔵	
00506	人間の尊厳(哲学にみる生と死) 1	春学期	2	2~4	中 島 靖 次	
00507	人間の尊厳(哲学にみる生と死) 2	秋学期	2	2~4	中 島 靖 次	
00511	人間の尊厳(国民国家の危機) 1	春学期	2	2~4	野 田 宣 雄	
00512	人間の尊厳(国民国家の危機) 2	秋学期	2	2~4	野 田 宣 雄	
00516	人間の尊厳(人権論の現在) 1	春学期	2	2~4	小 林 武	
00517	人間の尊厳(人権論の現在) 2	春学期	2	2~4	小 林 武	
00521	人間の尊厳(キリスト教における人間観) 1	春学期	2	2~4	山 田 望	

科 目 一 覧

# 共通教育科目

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
00522	人間の尊厳(キリスト教における人間観)2	秋学期	2	2~4	山田 望	
00526	人間の尊厳(人間の尊厳の思想史)	春学期	2	2~4	高橋 広次	
00531	人間の尊厳(自然法思想における人間観)	秋学期	2	2~4	山田 秀	
00536	人間の尊厳(少年保護と法的規制)	秋学期	2	2~4	丸山 雅夫	

## 外国語科目

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
<b>英語</b>						
01101 ∪ 01114	英語コミュニケーションⅠA	春学期	各3	1	LEIBETSEDER Christine GUBBINS Janice CALANTAS Teresita SELAND John BRYER Philip O'CONNELL Sean	
01151 ∪ 01164	英語コミュニケーションⅡA	秋学期	各3	1	LEIBETSEDER Christine GUBBINS Janice CALANTAS Teresita SELAND John BRYER Philip O'CONNELL Sean	
01201 ∪ 01208	英語コミュニケーションⅠB	春学期	各1	1	LEIBETSEDER Christine BRYER Philip CALANTAS Teresita	
01251 ∪ 01258	英語コミュニケーションⅡB	秋学期	各1	1	LEIBETSEDER Christine BRYER Philip CALANTAS Teresita	
01301 ∪ 01308	英語リーディングⅠ	春学期	各1	1	蜂須賀 幸志 久保 萬里子 渡辺 義和 大森 裕實	総合政策学部
01309 ∪ 01314	英語リーディングⅠ	春学期	各1	1	蜂須賀 幸志 久保 萬里子 渡辺 義和 金子 輝美	数理情報学部
01351 ∪ 01358	英語リーディングⅡ	秋学期	各1	1	蜂須賀 幸志 久保 萬里子 渡辺 義和 大森 裕實	総合政策学部
01359 ∪ 01364	英語リーディングⅡ	秋学期	各1	1	蜂須賀 幸志 久保 萬里子 渡辺 義和 BRYER Philip 金子 輝美	数理情報学部
01371 ∪ 01375	英語リーディングⅢ	秋学期	各2	2	蜂須賀 幸志 久保 萬里子 渡辺 義和 O'CONNELL Sean 船橋 眞喜子	

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
01401 } 01406	英語Ⅰ	春学期	各2	2	LEIBETSEDER Christine 蜂須賀 幸志 久保 萬里子 BRYER Philip CALANTAS Teresita 渡辺 義和 和田 珠実	
01451 } 01456	英語Ⅱ	秋学期	各2	2	LEIBETSEDER Christine 蜂須賀 幸志 久保 萬里子 GUBBINS Janice BRYER Philip CALANTAS Teresita 渡辺 義和 和田 珠実	
<b>英語以外の外国語</b>						
01501 } 01503	中国語Ⅰ	春学期	各4	2	陳 兆 麗 梁 曉 虹 原 田 直 枝	
01551 } 01553	中国語Ⅱ	秋学期	各2	2	陳 兆 麗 梁 曉 虹 原 田 直 枝	
02101 02102	フランス語Ⅰ	春学期	各4	2	HOLLAND Ronald 田 所 光 男	
02151 02152	フランス語Ⅱ	秋学期	各2	2	HOLLAND Ronald 田 所 光 男	
02501 02502	スペイン語Ⅰ	春学期	各4	2	浅 香 幸 木 下 まり 枝あ	
02551 02552	スペイン語Ⅱ	秋学期	各2	2	浅 香 幸 木 下 まり 枝あ	
03101	外国語Ⅰ	通年	1	2	近 藤 祐 一	
03111	外国語Ⅱ (中国語)	夏期前半	5	2	周 錦 樟	
03121	外国語Ⅱ (韓国語)	夏期前半	5	2	青 木 清	
03131	外国語Ⅱ (マレー・インドネシア語)	冬期集中	5	2	近 藤 祐 一	
03141	外国語Ⅱ (ベトナム語)	冬期集中	5	2	宮 沢 千 尋	
03151	外国語Ⅱ (フィリピン語)	夏期前半	5	2	MUNCADA Felipe	
03161	外国語Ⅱ (タイ語)	夏期前半	5	2	須 藤 季 夫	
<b>日本語</b>						
03501	日本語Ⅰ (文法)	春学期	10	1	山 口 薫 梅 田 康 子	
03502	日本語Ⅰ (文法)	秋学期	10	1	山 口 薫 梅 田 康 子	
03511	日本語Ⅰ (会話・運用)	春学期	2	1	西 隈 俊 哉	
03512	日本語Ⅰ (会話・運用)	秋学期	2	1	西 隈 俊 哉	

共通教育科目

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
03521	日本語Ⅱ（文法）	春学期	8	1	山口 和代 三矢 真美 横内 保俊 西隈 子哉	
03522	日本語Ⅱ（文法）	秋学期	8	1	山口 和代 三矢 真美 横内 保俊 西隈 子哉	
03531	日本語Ⅱ（会話・運用）	春学期	2	1	伊藤 由香	
03532	日本語Ⅱ（会話・運用）	秋学期	2	1	伊藤 由香	
03541	日本語Ⅲ（作文・読解）	春学期	4	1・2	山口 和代	
03542	日本語Ⅲ（作文・読解）	秋学期	4	1・2	山口 和代	
03551	日本語Ⅲ（聴解・会話）	春学期	4	1・2	魚住 友子 村上 かおり	
03552	日本語Ⅲ（聴解・会話）	秋学期	4	1・2	魚住 友子 村上 かおり	
03561	日本語Ⅲ（総合）	春学期	2	1・2	梅田 康子	
03562	日本語Ⅲ（総合）	秋学期	2	1・2	梅田 康子	

体育科目

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
05101 ∪ 05104	基礎体育A	春学期	各1	1	三浦 修史 寺田 邦昭 中路 恭平 平野 朋枝 中山 健彦 天野 和彦	
05105	基礎体育A [特]	春学期	1	1	池上 久子	
05106	基礎体育A [秋入学生用]	秋学期	1	1	池上 久子	
05201 ∪ 05204	基礎体育B	秋学期	各1	1	三浦 修史 寺田 邦昭 中路 恭平 平野 朋枝 中山 健彦 天野 和彦	
05205	基礎体育B [特]	秋学期	1	1	池上 久子	
05206	基礎体育B [秋入学生用]	春学期	1	1	池上 久子	
05501	スポーツ実技(リフレッシュスポーツ)	春学期	1	2~4	三浦 修史	バレーボール
05502	スポーツ実技(リフレッシュスポーツ)	夏期後半	1	2~4	坪田 暢允	ゴルフ
05511	スポーツ実技(生涯スポーツ)	夏期後半	1	2~4	池上 久子	ゴルフ
05512	スポーツ実技(生涯スポーツ)	秋学期	1	2~4	三浦 修史	フィットネス

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
05513	スポーツ実技(生涯スポーツ)	秋学期	1	2~4	池上 久子	卓球
05514	スポーツ実技(生涯スポーツ)	冬期集中	1	2~4	三浦 修史	スキー
05521	スポーツ実技(冬季のスポーツ)	冬期集中	1	2~4	坪田 暢久 池上 允子	スキー

テーマ科目

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
<b>異文化との出会い</b>						
06101	異文化との出会い(キリスト教との出会い)	春学期	2	1~4	VOLPE Angelina	
06111	異文化との出会い(文学にみる異文化受容)	秋学期	2	1~4	浅香 幸枝	
06121	異文化との出会い(異文化交流の諸相)	春学期	2	1~4	渡辺 義和	
06131	異文化との出会い(南アフリカを知る)	春学期	2	1~4	蜂須賀 幸志	
06141	異文化との出会い(フランス語圏文化)	秋学期	2	1~4	HOLLAND Ronald	
06151	異文化との出会い(日本文化論)	秋学期	2	1~4	樋口 浩造	
<b>生命と環境</b>						
06301	生命と環境(環境倫理)	春学期	2	1~4	高橋 広次	
06311	生命と環境(経済と環境問題)	秋学期	2	1~4	若井 隆司	
06321	生命と環境(地球環境のゆくえ)	春学期	2	1~4	藤本 潔	
06331	生命と環境(自然環境と生物)	春学期	2	1~4	江田 信豊	
06341	生命と環境(環境保護の法的問題)	春学期	2	1~4	丸山 雅夫	
06351	生命と環境(生命倫理)	未定	2	1~4	未定	
<b>知識・言語と情報社会</b>						
06501	知識・言語と情報社会(社会現象とOR)	春学期	2	1~4	澤木 勝茂 鈴木 敦夫	
06511	知識・言語と情報社会(情報倫理)	秋学期	2	1~4	高見 勲	
06521	知識・言語と情報社会(知識と意識)	春学期	2	1~4	中島 靖次	
06531	知識・言語と情報社会(偶然の中の規則性)	秋学期	2	1~4	松田 眞一	
06541	知識・言語と情報社会(翻訳と理解)	秋学期	2	1~4	服部 裕幸	
06551	知識・言語と情報社会(言語と表現)	春学期	2	1~4	久保 萬里子	
<b>モダンの系譜</b>						
06701	モダンの系譜(国民国家の諸問題)	秋学期	2	1~4	野田 宣雄	
06711	モダンの系譜(近代女性思想)	秋学期	2	1~4	浜名 優美	
06721	モダンの系譜(近代科学史)	秋学期	2	1~4	大野 誠	

# 共通教育科目

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
06731	モダンの系譜(科学技術論)	秋学期	2	1~4	小林 傳司	
06741	モダンの系譜(社会科学のパラダイム)	春学期	2	1~4	高橋 潔	
06751	モダンの系譜(労働観の変遷)	春学期	2	1~4	藤原 道夫	

## 分野科目

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
07001	哲学	秋学期	2	1~4	中島 靖次	
07011	文学	秋学期	2	1~4	原田 直枝	
07021	日本史	春学期	2	1~4	青山 幹哉	
07031	美術	春学期	2	1~4	遠藤 恒雄	
07041	音楽	春学期	2	1~4	小林 聡	
07051	法学	春学期	2	1~4	松倉 耕作	
07061	政治学	春学期	2	1~4	野口博史 深井 慈子	
07071	文化人類学	秋学期	2	1~4	坂井 信三	
07081	社会学	春学期	2	1~4	松戸 武彦	
07091	経済学	春学期	2	1~4	若井 隆司	
07101	数学	秋学期	2	1~4	春藤 修二	
07111	物理学	春学期	2	1~4	馬宮 孝好	
07121	生物学	秋学期	2	1~4	江田 信豊	
07131	化学	秋学期	2	1~4	松本 英二	
07141	心理学	春学期	2	1~4	神谷 俊次	
07151	地球科学1	春学期	2	1~4	松本 英二	
07152	地球科学2	春学期	2	1~4	河室 公康	
07161	スポーツ科学論	春学期	2	1~4	池上 久子	
07171	健康科学論	秋学期	2	1~4	三浦 修史	

アカデミックリテラシー科目

科目コード	授業科目	開講形態	単位	年次	担当者	備考
07501 } 07512	基礎演習	春学期	各2	1	三浦 浦田 修 史 江田 井島 信 豊 若中 山 隆 司 山 藤 靖 次 藤 本 望 加 藤 尚 潔 高 橋 史 野 口 博 潔 西 脇 博 史 池 上 久 純 原 上 枝 子	
07513	基礎演習	秋学期	2	1	山口 薫	
07521 } 07525	コンピュータ基礎演習I	春学期	各1	1	児玉 靖 司 張 巢 漢 明 蜂 金 吉 成 宮 澤 知 俊 元	
07531 } 07535	コンピュータ基礎演習II	秋学期	各1	1	児玉 靖 司 張 巢 漢 明 蜂 金 吉 成 宮 澤 知 俊 元 KEENI Kanad	

科目一覽

講 義 概 要

# 共通教育科目

# 1. 宗教科目

## [宗教論]

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
00001 00006	宗教論 [MT・MM] 宗教論 [PP]	必	春学期 秋学期	各2	1	SELAND John
他の科目との関連						履修 対象学科

**【講義内容】** 人類が継承してきた文化には、人々の宗教心が深く関わっている。そのために、現代世界の社会や文化を理解するには宗教への理解が不可欠である。また、キリスト教がもつ価値を正しく評価するためには宗教そのものの理解も必要である。本講義では、宗教理解への入門として特定の宗教を取り上げるとともに、宗教現象の分析を通じて、宗教がもつ文化的・社会的意味、宗教と人間観・世界観の関係について考察する。この講義を通じて宗教に対する理解を深めるための基礎的な枠組みを修得することを目指す。

- 【講義計画】**
- 1 世界の宗教
  - 2 旧、新約聖書
  - 3 旧約聖書の紹介・ノアの箱舟等物語の紹介
  - 4 〃 〃
  - 5 〃 〃 ・出エジプト記
  - 6 〃 〃 ・預言者
  - 7 〃 〃 ・キリストに関する旧約の預言
  - 8 〃 〃 ・10戒の解説
  - 9 〃 〃 ・10戒の解説
  - 10 〃 〃 ・10戒の解説
  - 11 〃 〃 ・10戒の解説
  - 12 クリスマスの説明

**【評価方法】** 出席状況とレポート提出による。

**【テキスト】** その都度、プリント等で資料を配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
00002 00007	宗教論 [MT・MM] 宗教論 [PP]	必	春学期 秋学期	各2	1	SWANSON Paul
他の科目との関連						履修 対象学科

**【講義内容】** 人類が継承してきた文化には、人々の宗教心が深く関わっている。そのために、現代世界の社会や文化を理解するには宗教への理解が不可欠である。また、キリスト教がもつ価値を正しく評価するためには宗教そのものの理解も必要である。本講義では、宗教理解への入門として特定の宗教を取り上げるとともに、宗教現象の分析を通じて、宗教がもつ文化的・社会的意味、宗教と人間観・世界観の関係について考察する。この講義を通じて宗教に対する理解を深めるための基礎的な枠組みを修得することを目指す。

- 【講義計画】**
1. 宗教とは何か——仏教とキリスト教の比較
  2. 釈尊の生涯（1）：伝統的物語
  3. 釈尊の生涯（2）：現代的描写
  4. 釈尊の生涯（3）：手塚治虫の「ブツ」
  5. イエスの生涯（1）：『福音書』のイエス
  6. イエスの生涯（2）：現代的描写
  7. イエスの生涯（3）：映画の中のイエス
  8. 釈尊とイエスの生涯——その共通点と相違点
  9. 大乘仏教と『法華経』
  10. 『法華経』の窮子の比喻
  11. 『福音書』の放蕩息子の喩話
  12. まとめ

【評価方法】 授業参加、試験

【テキスト】 『新約聖書』（どの翻訳でも可）  
『法華経』（岩波文庫41；3巻の上のみ）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
00003 00008	宗教論 [MT・MM] 宗教論 [PP]	必	春学期 秋学期	各2	1	渡 邊 学
他の科目との関連						履 修 対象学科

【講義内容】 人類が継承してきた文化には、人々の宗教心が深く関わっている。そのために、現代世界の社会や文化を理解するには宗教への理解が不可欠である。また、キリスト教がもつ価値を正しく評価するためには宗教そのものの理解も必要である。本講義では、宗教理解への入門として特定の宗教を取り上げるとともに、宗教現象の分析を通じて、宗教がもつ文化的・社会的意味、宗教と人間観・世界観の関係について考察する。この講義を通じて宗教に対する理解を深めるための基礎的な枠組みを修得することを目指す。

【講義計画】

1. 宗教とは何か——現代人の宗教意識と伝統宗教
2. 日本人と宗教
3. 仏教Ⅰ
4. 仏教Ⅱ
5. 神道
6. キリスト教Ⅰ
7. キリスト教Ⅱ
8. イスラム教Ⅰ
9. イスラム教Ⅱ
10. 近代社会と宗教
11. 現代社会と宗教
12. 総括

【評価方法】 講義の際の質疑応答や出席を考慮に入れるが、期末に行う筆記試験を最重要視する。

【テキスト】 幸日出男他著『宗教の歴史』（創元社）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
00005	宗教論 [PP]	必	秋学期	2	1	五百旗頭博治
他の科目との関連						履 修 対象学科

【講義内容】 人類が継承してきた文化には、人々の宗教心が深く関わっている。そのために、現代世界の社会や文化を理解するには宗教に関する理解が不可欠である。また、キリスト教がもつ価値を正しく評価するためには宗教そのものの理解が必要である。本講義では、宗教理解への入門として特定の宗教を取り上げるとともに、宗教現象の分析を通じて、宗教がもつ文化的・社会的意味、宗教と人間観・世界観の関係について考察する。この講義を通じて宗教に対する理解を深めるための基礎的な枠組みを修得することを目指す。

【講義計画】 本講義はキリスト教理解の基礎となる幾つかの問題をめぐって行われる。一つには宗教と学問と哲学、文学、芸術についての基本的考察から、更にそれら相互の親近性と相異性についての理解を深める。第二にキリスト教と他宗教の問題に目を向ける。第三に何人かの哲学者の宗教観、神観を紹介する。第四に神学者アウグスチヌスにおける悪の問題にふれる。各時間の始めには短い解説と共に宗教音楽（クラシック）の名曲のCDから1つの楽章を選んで聞かせる。

序論：自己紹介と本講義の学び方  
本論：Ⅰ. 宗教と宗教学—A. 宗教とは何か：宗教の種類；宗教に関連又は隣接する諸現象（宗教意識、超常現象、神秘現象、臨死体験等）；本物の宗教の見分け方、B. 学問と芸術：宗教と宗教学・キリスト教；宗教と哲学、芸術の共通点と相異点  
Ⅱ. キリスト教と他宗教—「教会憲章」第2章；自力教と他力門の区別は有効か；道としての宗教  
Ⅲ. 哲学者の神—Socrates, Platon, Aristoteles, 西田幾多郎

#### IV. 神学者Augustinusと悪の問題

【評価方法】 主として期末の筆記試験（自筆のノートのみ参照可）による。それに加えて出席状況も評価する。

【テキスト】 テキストは用いない。「教会憲章」（第二章）はプリント配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
00020	宗教論 [再]	必	夏期前半	2	2~4	鳥巢 義文	
他の科目との関連	前年度又はそれ以前の「宗教論」不合格者又は未履修者					履修対象学科	全

【講義内容】 人類が継承してきた文化には、人々の宗教心が深く関わっている。そのために、現代世界の社会や文化を理解するには宗教への理解が不可欠である。また、キリスト教がもつ価値を正しく評価するためには宗教そのものの理解が必要である。本講義では、宗教理解への入門として特定に宗教を取り上げるととも、宗教現象の分析を通じて、宗教がもつ文化的・社会的意味、宗教と人間観・世界観の関係について考察する。この講義を通じて宗教に対する理解を深めるための基礎的な枠組みを修得することを旨とする。

- 【講義計画】
- 1 宗教とは何かーイスラームとキリスト教の比較
  - 2 日本の状況ーオリエンテーション
  - 3 ムハンマドとその時代背景
  - 4 イスラームの成立
  - 5 コーランの成立
  - 6 コーランの教義内容
  - 7 コーランにおけるキリスト・イエス観
  - 8 コーランにおける「三位一体」批判
  - 9 キリスト教会の公文書における対話的イスラーム観
  - 10 キリスト「論」の再検討
  - 11 キリスト教的三位一体の神理解のユニークさ
  - 12 総括と展望

【評価方法】 講義への出席状況、授業最終日の筆記試験の結果などから評価する。

【テキスト】 鳥巢義文『対話と告白ーキリスト教とイスラームの神理解をめぐる』(新世社、2001年)

#### [キリスト教概論]

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
00101 00106	キリスト教概論 [MT・MM] キリスト教概論 [PP]	必	春学期 秋学期	各2	2	SELAND John
他の科目との関連						履修対象学科

【講義内容】 南山大学の教育、研究の基礎をなすキリスト教的ヒューマニズムを身につけるために、キリスト教の歴史やその中心的な教えを旧約聖書・新約聖書に基づいて考察する。イエス・キリストの人となりやその教えを理解することにより、人間の文化的活動の根底にある宗教的ヒューマニズムを学ぶ機会を提供する。

- 【講義計画】 イエズスの生涯
- ① 誕生
  - ② 軌跡（例：復活）
  - ③ 受難
- ※ 主に神様の愛について

【評価方法】 出席を重んじる  
レポート

【テキスト】 新約聖書

【その他】 ビデオ鑑賞等

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
00102 00107	キリスト教概論 [MT・MM] キリスト教概論 [PP]	必	春学期 秋学期	各2	2	山田 望
他の科目との関連						履修 対象学科

【講義内容】 南山大学の教育、研究の基礎をなすキリスト教的ヒューマニズムを身につけるために、キリスト教の歴史やその中心的な教えを旧約聖書・新約聖書に基づいて考察する。イエス・キリストの人となりやその教えを理解することにより、人間の文化的活動の根底にある宗教的ヒューマニズムを学ぶ機会を提供する。

【講義計画】

1. 序論－講義の進め方と対象。パレスチナの風土。
2. ユダヤ教の世界観と人間論。
3. 後期ユダヤ教とユダヤ教諸派。
4. ローマ帝国とローマ的世界観。
5. 史的イエス：キリスト教外資料と内資料。
6. イエスの警え話：律法主義と神の国。
7. イエスの生涯：受難と復活。
8. 復活信仰の成立と発展。
9. パウロの回心と伝道旅行。
10. 黙示録とキリスト教大迫害。
11. 初期キリスト教と地中海世界。
12. キリスト教公認後の発展と諸問題。

【評価方法】 出席状況、レポート、定期試験。

【テキスト】 新共同訳聖書、そのほか適宜プリントを配布する。

【その他】 講義は、各種文献史料のみならず、ビデオやスライドなどの視聴覚資料をも併用しながら進められる。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
00103 00108	キリスト教概論 [MT・MM] キリスト教概論 [PP]	必	春学期 秋学期	各2	2	VOLPE Angelina
他の科目との関連						履修 対象学科

【講義内容】 南山大学の教育、研究の基礎をなすキリスト教的ヒューマニズムを身につけるために、キリスト教の歴史やその中心的な教えを旧約聖書・新約聖書に基づいて考察する。イエス・キリストの人となりやその教えを理解することにより、人間の文化的活動の根底にある宗教的ヒューマニズムを学ぶ機会を提供する。

【講義計画】

- 1回 キリスト教に近づくための研究方法
- 2回 キリスト教の生きている伝統と聖書
- 3回 良心の声と聖書の神は同じであるか
- 4回 聖書における人間の根源と行き先
- 5回 創造主と創造されたもの
- 6回 人生の意義と神の探求
- 7回 神を認めるか、認めないか、パスカルの賭け
- 8回 神とキリスト
- 9回 キリストの人間としての経験
- 10回 なぜ人間はキリストのうちに自己実現を果すことができるか
- 11回 キリストの神への道
- 12回 愛と一致

【評価方法】 定期的な小レポート、期末レポートを参考してつける。

【テキスト】 G.リヴァ『キリスト教の小さな人間学』（ドン・ボスコ社、2001年3月出版予定）

【その他】 キリスト教に関する知識をすでに持っている学生が好ましいが、条件ではない。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
00104 00109	キリスト教概論 [MT・MM] キリスト教概論 [PP]	必	春学期 秋学期	各2	2	江川 憲
他の科目との関連						履修対象学科

【講義内容】 南山大学の教育、研究の基礎をなすキリスト教的ヒューマニズムを身につけるために、キリスト教の歴史やその中心的な教えを旧約聖書・新約聖書に基づいて考察する。イエス・キリストの人となりやその教えを理解することにより、人間の文化的活動の根底にある宗教的ヒューマニズムを学ぶ機会を提供する。

【講義計画】  
序論：聖書とは何か？  
本論：1. 「福音」とは何か？  
2. 「神の国」とは何か？  
3. 「イエス・キリスト」とは何か？  
4. 「十字架」とは何か？  
結論：現代人にとっての意味

【評価方法】 レポート、講義への参加姿勢および出席等を総合的に評価する。

【テキスト】 新共同訳『聖書』（旧約聖書続編つき）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
00120	キリスト教概論 [再]	必	春学期	2	3~4	江川 憲
他の科目との関連	前年度又はそれ以前の「キリスト教概論」不合格者又は未履修者					履修対象学科 全

【講義内容】 南山大学の教育、研究の基礎をなすキリスト教的ヒューマニズムを身につけるために、キリスト教の歴史やその中心的な教えを旧約聖書・新約聖書に基づいて考察する。イエス・キリストの人となりやその教えを理解することにより、人間の文化的活動の根底にある宗教的ヒューマニズムを学ぶ機会を提供する。

【講義計画】  
序論：聖書とは何か？  
本論：1. 「福音」とは何か？  
2. 「神の国」とは何か？  
3. 「イエス・キリスト」とは何か？  
4. 「十字架」とは何か？  
結論：現代人にとっての意味

【評価方法】 レポート、講義への参加姿勢および出席等を総合的に評価する。

【テキスト】 新共同訳『聖書』（旧約聖書続編つき）

## 2. 「人間の尊厳」科目

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
00501 00502	人間の尊厳（聖書の人間像）	選必	春学期 秋学期	各2	2～4	岡崎 才蔵	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 聖書を単なるキリスト教の経典としてではなく、今を生きるわれわれの心に問いかけ、訴える、現代性と魅力をもった人間ドラマの書として扱い、そこに見られる人間像を浮き彫りにする。具体的には、旧約聖書や新約聖書に登場する主な人物を取り上げ、そこに見られる人間理解を探る。

【講義計画】

1. アダムとエヴァ
2. モーセ
3. サムソン
4. ダビデ
5. エレミヤ
6. ペトロ
7. パウロ
8. マリア（2回）
9. イエス（2回）

【評価方法】 筆記試験の結果および出席状況から評価する。

【テキスト】 『聖書』（できれば、新共同訳の旧約と新約がセットになったもの）

【その他】 座席指定とする。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
00506 00507	人間の尊厳（哲学にみる生と死）	選必	春学期 秋学期	各2	2～4	中島 靖次	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 現代は、これまで自明とされてきた様々な概念が不明瞭になってきた時代といえる。「死」の概念も今日、顕著な揺らぎを見せており、それは「人間の尊厳」そのものの意義を問い直す事態となっている。本講義では、生と死を担う自我あるいは自己意識の次元に立ち返り、その存在がいったいどのようなものであるかを、最近の生命倫理学にも触れつつ、哲学的に考察する。

【講義計画】

- ① 「生と死」を考えるととは？
- ② 「生」・「死」概念の揺らぎ－1
- ③ 「生」・「死」概念の揺らぎ－2
- ④ 「生」・「死」概念の揺らぎ－3
- ⑤ 「生」・「死」概念の揺らぎ－4
- ⑥ 生命倫理学から見る「生と死」－1
- ⑦ 生命倫理学から見る「生と死」－2
- ⑧ 生命倫理学から見る「生と死」－3
- ⑨ 生命倫理学から見る「生と死」－4
- ⑩ 生命倫理学から見る「生と死」－5
- ⑪ 生命倫理学における諸問題
- ⑫ 人間が「生きる」とは、「死ぬ」とは？

【評価方法】 2～3回に1度程度の小レポート提出、および、学期末におけるレポート

【テキスト】 そのつどプリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
00511 00512	人間の尊厳（国民国家の危機）	選必	春学期 秋学期	各2	2～4	野田 宣雄	
他の科目との関連						履修 対象学科	全

【講義内容】 現在の世界では、情報技術の発達と結びついていわゆるグローバル化の傾向が恐るべき勢いで進行し、国民国家の枠組みが揺らいでいる。この現状を分析しながら、国民国家に代わってどんな政治単位が意味を持ち始めているかを考察する。とくに国民国家より下位のレベルでエスニック・ナショナリズムが台頭し、他方、国民国家よりも上位のレベルで文明・帝国等が新たな意義を持ち始めていることに注目する。

【講義計画】 ① 20世紀末以降、国民国家が危機にさらされるにいたった歴史的背景を明らかにするために、本講義では20世紀全体の歴史をふり返る。最初に第1次世界大戦について考察する。  
② ついで、両大戦間と第2次世界大戦を考察し、国民国家の強大化を明らかにする。  
③ 冷戦時代に考察を進め、日本を含む西欧先進諸国における経済成長・福祉政策に触れる。  
④ 1980年代におけるレーガン、サッチャーによる国家と経済との関係の変化を扱う。  
⑤ 最後に冷戦終結後を考察し、国民国家の危機と新しい政治秩序の問題について考える。

【評価方法】 期末の記述式のテストによって評価する。ただし、講義時間中に抜き打ち的に3度ないし4度にわたり出欠をとり、評価にくわえる。

【テキスト】 講義の過程で参考文献を適宜紹介し、テキストはとくに定めない。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
00516 00517	人間の尊厳（人権論の現在）	選必	春学期	各2	2～4	小林 武	
他の科目との関連	法学・政治学関係の科目をできるだけ広く学ぶことが望ましい。					履修 対象学科	全

【講義内容】 法の世界では、「人間の尊厳」の理念は、人権＝基本的人権を保障する仕組みとして現れる。この人権保障の考え方は、近代に登場し、時代が現代へと展開するにもなって多様かつ豊かなものとなっている。しかし人間生活のあり方が高度化する中で、人権を歪め、侵害するような問題も広範に生起している。この講義においては、憲法における人権論の歴史的展開をふまえた上で、今日の人権保障にかかわる様々な問題を具体的に示し、それらの解決にあたる人権論のありようを考えることにする。

【講義計画】 1 開講にあたって。人間の尊厳と人権  
2 人権＝基本的人権の「いま」  
3 かけがえのない個人  
4 人の平等とその実現の課題  
5 自由な精神活動の保障  
6 身体的自由と国家  
7 現代社会の経済的自由  
8 人間らしく生きることの保障  
9 子どもの教育を受ける権利と学校  
10 働く人々の権利——企業・公務員  
11 政治の決定に参加する権利  
12 人権——現在から明日へ。閉講のことば

【評価方法】 テスト（筆記試験）による。

【テキスト】 ① 小林 武著『ようこそ日本国憲法へ』（法学書院、2200円）  
② 講義の際に指示する

【その他】 わかりやすく、興味のもてる講義になるように心がける。そのため、できるだけ具体的な問題・話題をとりあげ、それを受講生諸君とともに考えていく。日頃の人権にかんするニュースなどに関心をもって受講することを期待したい。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
00521 00522	人間の尊厳（キリスト教における人間観）	選必	春学期 秋学期	各2	2～4	山田 望	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 ユダヤ教の人間観によれば、神に似せて造られた人間は、イスラエルの歴史を支配する神との契約に基づき、その救いの約束を信じて生きる時、祝福された者へと成長する。キリスト教はこの人間観を継承しつつも、神と人との関係を、イエスの内に受肉したキリストが取り持つ新しい契約へと移し替えた。こうして愛を本質とする神と人の新たな関係が、一民族を超えて全ての人間に開かれることとなった。本講義では、ユダヤ教、キリスト教に見られる人間観の変遷と発展を、旧新約聖書、並びに後代の教父文書をひもときながら明らかにする。

- 【講義計画】
1. 創造神話の二面的人間観：「神の似姿」と「土の塵」。
  2. 神話的原因譚とイサク奉獻の物語。
  3. ヨセフ物語と夢解き：摂理と人間。
  4. 十戒と本当の自由：自由を求める人間像
  5. 降誕物語に見る「信仰」：絶望の中の灯火。
  6. イエスと「神の国」思想－逆転の人間観。
  7. 差別、癒し、和解：サマリア人とサマリアの女。
  8. 受難と復活：死と生の狭間に立つ十字架。
  9. 逆説的生：パウロの人間観。
  10. 光と命：ヨハネの受肉思想。
  11. アウグスティヌスの人間観と諸問題。
  12. 総括：新しい人間観の可能性。

【評価方法】 出席状況、レポート。

【テキスト】 新共同訳聖書、そのほか適宜プリントを配布する。

【その他】 講義は、さまざまな文献史料のみならず、ビデオやスライドなどの視聴覚資料をも併用しながら進められる。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
00526	人間の尊厳（人間の尊厳の思想史）	選必	春学期	2	2～4	高橋 広次	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 人間の尊厳の思想は、もはやかつてのように教会やアカデミックな講壇で説かれるだけでなく、国家を導く理念、そして国際社会を導く理念として揺るぎない地位を獲得し、人権宣言などに実定化されて具体的法効果を有するまでに至った。本講義では、とくに人間の尊厳の観念が古代から現代に至るまで各時代でどのように受けとめられていたかを思想史的に探り、また人間の尊厳の「概念」を明らかにするため、様々な法学的・哲学的・神学的根拠づけの諸理論を検討し、最後に、それが「人間の責任」という観念と表裏一体の関係にあることを明らかにする。

- 【講義計画】
- ① 古代ローマのdignitas観
  - ② 中世キリスト教のImago Deiならびにpersona観
  - ③ 近世ルネッサンスのdignitas humanaについて
  - ④ カントの「尊厳」概念について
  - ⑤ 近代の懐疑的・批判的見解について
  - ⑥ 第二次世界大戦後の再生と世紀末での変容について

【評価方法】 成績の評価に際しては、定期試験の結果を中心にする。なお毎回の講義の出席を重視する。

【テキスト】 レジュメを配布する。なお、参考書としてホセ＝ヨンバルト著『人間の尊厳と国家の権力』（成文堂）を勧める。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
00531	人間の尊厳（自然法思想における人間観）	選必	秋学期	2	2～4	山田 秀	
他の科目との関連						履修対象学科	全

**【講義内容】** 学問の営みは、精緻化専門化の一途を辿り、本来一体的、総合的に理解されるべき「人間」を、学問的厳密性、科学的価値中立性を理由に、言わばバラバラに考察し、記述してきたように思われる。本講義では、人間を「統合的に」把握する手掛りを自然法に求める。その自然法の存在と認識をめぐって今日まで払われて来た努力の一つの結晶として「伝統的自然法論」を現代的視点から捉え直し、様々な問題を考察する。

**【講義計画】** 大凡以下の順に講義を進めていく。

- I 自然法についての概説
  - 1. 自然法についての通説的理解    2. 自然法についての伝統的理解    3. 自然法と「善さ」を志向する人間本性
- II 「善さ」についての諸考察
  - 1. 「善さ」への問い    2. 「善さ」と教育    3. 「善さ」への働き
- III 宇宙の理法としての「善さ」
  - 1. 存在と創造の原理    2. 「善く」生きようとする人間
- IV 政治、法、倫理と「善さ」の問題——統合的人間論の試み——

**【評価方法】** 主として筆記試験（定期考査）により評価を行う。但し、出来るだけ毎回小問題を準備し、それに解答して貰う予定であるので、これをも若干評価に加味する。

**【テキスト】** 開講時に指定する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
00536	人間の尊厳（少年保護と法的規制）	選必	秋学期	2	2～4	丸山 雅夫	
他の科目との関連						履修対象学科	全

**【講義内容】** 19世紀末から今世紀初めにかけて世界各国で相次いで成立した少年法は、成人とは異なる固有の特性に着目して少年を保護しようとする福祉重視の画期的な法として出発した。しかし、1960年代から、こうした少年法のあり方に対して多くの批判が向けられるようになってきた。本講義では、福祉重視の少年法の考え方とその具体的な内容を明らかにするとともに、それに対する批判的見解を検討することを通じて、少年における「人間の尊厳」とは何か、またそれを保障するためにはどのような法制度が適切かといった点について考察する。

- 【講義計画】**
- ① 「小さな大人」としての子どもの法的地位
  - ② 欧米におけるチャイルド・セイヴァー運動
  - ③ 我が国における子どもの救済運動
  - ④ 欧米における少年法制の確立
  - ⑤ 我が国の大正少年法
  - ⑥ 現行少年法の枠組
  - ⑦ 非行少年の発見
  - ⑧ 少年審判手続
  - ⑨ 非行少年の処遇
  - ⑩ 国際条約における子どもの保護
  - ⑪ 欧米における少年法改正論議
  - ⑫ 我が国における少年法改正論議

**【評価方法】** 学期末の筆記（論述）試験による。

**【テキスト】** 特に指定しない。毎回、レジュメを配布する。

### 3. 外国語科目

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
01101 ＼ 01114	英語コミュニケーションⅠA	必	春学期	各3	1	LEIBETSEDER Christine GUBBINS Janice CALANTAS Teresita SELAND John BRYER Philip O'CONNELL Sean
他の科目との関連						履修対象学科 総合政策

【副題】 総合政策学部：Oral Communication I A

【講義内容】 知識として蓄積された英語の語彙・文法を活性化させ、特にランゲージラボと外国人教員とのコミュニケーション練習を通し、聞く、話す力を伸ばすことを目的とする。

This course is intended to give the students a good basis in all four skills: speaking, listening, reading, and writing. The primary stress is communication and the ability to converse about daily topics and to use English in a variety of situations. At the same time, attention will also be given to the other skills, so that the students will be able to improve their overall use of English.

【講義計画】 Various materials and methods will be employed for the purpose of helping the students develop the confidence needed to actually use the English proficiency they have acquired. Emphasis will also be given to global concerns, so that the students become aware of what is happening outside their immediate environment. Each instructor will provide an explanation of the individual syllabus at the beginning of the semester.

【評価方法】 Instructors will give substance to their teaching by means of homework, quizzes, and exams (oral and/or written). Each instructor will provide an explanation of the evaluation methods at the beginning of the semester.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
01151 ＼ 01164	英語コミュニケーションⅡA	必	秋学期	各3	1	LEIBETSEDER Christine GUBBINS Janice CALANTAS Teresita SELAND John BRYER Philip O'CONNELL Sean
他の科目との関連						履修対象学科 総合政策

【副題】 総合政策学部：Oral Communication II A

【講義内容】 英語コミュニケーションⅠAで養った英語コミュニケーション能力をさらに高いレベルへと指導する。ランゲージラボと外国人教員とのコミュニケーション練習を集中的に行い、実用に耐えうる語学力を身につける。

This course provides the students with a more advanced level in English communication in order to help them develop more proficiency in each of the four language skills: speaking, listening, reading, and writing. The course builds on the foundation given in Oral Communication I A and attempts to develop both fluency and accuracy so that the students feel more at home in the language, and have the confidence to use it in different situations, such as conversing with foreigners or for going abroad.

【講義計画】 Various materials and methods will be employed for the purpose of helping the students develop the confidence necessary to actually use the English proficiency they have acquired. Continued emphasis will be

given to global concerns, so that the students increase their awareness of what is happening in the world. At the beginning of the semester, each instructor will provide an explanation of the individual syllabus.

【評価方法】 Instructors will give substance to their teaching by means of homework, quizzes, and exams (oral and/or written). Each instructor will provide an explanation of the evaluation methods at the beginning of the semester.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
01201 ) 01208	英語コミュニケーションⅠB	必	春学期	各1	1	LEIBETSEDER Christine BRYER Philip CALANTAS Teresita
他の科目との関連						履修対象学科: 数理科学 情報通信

【副題】 数理情報学部: Oral Communication I B

【講義内容】 知識として蓄積された英語の語彙・文法を活性化させ、特にランゲージラボと外国人教員とのコミュニケーション練習を通し、聞く、話す力を伸ばすことを目的とする。

In order to give the students a good working basis in English, all four skills will be used: speaking, listening, reading, and writing. At the same time, attention will also be given to vocabulary building, correct grammar usage, proficiency in listening, and basic writing techniques and skills.

【講義計画】 The aim of this course is to help the students learn how to use general English in practical matters relating to daily life. In order to achieve this, a variety of teaching methods will be used, such as small group discussions, role-playing, group games, and short skits. At the beginning of the semester, each teacher will provide a syllabus to make clear which materials will be treated during the course.

【評価方法】 The method of evaluation will include homework assignments, quizzes, and regular examinations.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
01251 ) 01258	英語コミュニケーションⅡB	必	秋学期	各1	1	LEIBETSEDER Christine BRYER Philip CALANTAS Teresita
他の科目との関連						履修対象学科: 数理科学 情報通信

【副題】 数理情報学部: Oral Communication II B

【講義内容】 英語コミュニケーションⅠBで養った英語コミュニケーション能力をさらに高いレベルへと指導する。ランゲージラボと外国人教員とのコミュニケーション練習を集中的に行い、実用に耐えうる語学力を身につける。

This course will continue to build on material given in the previous course of Oral Communication. At the same time, in order to familiarize students with vocabulary relating to their area of study, more attention will be given to English dealing with technical and scientific matters.

【講義計画】 In the hope that the students increase both fluency and accuracy, there will be more pair work and small group discussion. Each instructor will provide a syllabus of the semester's classwork in order to guarantee that a variety of material is covered during the course.

【評価方法】 Besides quizzes and exams, there will be regular homework assignments. The instructor will explain the method of evaluation to the students at the beginning of the semester.

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
01301 ) 01308	英語リーディングⅠ	必	春学期	各1	1	蜂須賀 幸志 久保 萬里子 渡辺 義和 大森 裕實
他の科目との関連						履修対象学科: 総合政策

【講義内容】 高校で身につけた基礎的な読む力・書く力を総合的に増強し、2年次以降英語で専門分野の文献が読めるような基礎力をのばす。

【講義計画】 英字新聞、雑誌紹介。  
毎回予習、復習をしていくことが課せられる。  
英字新聞ヘッドライン、天気予報、新聞広告、漫画等の読み方指導。  
テキスト及び英文雑誌・新聞から簡単な記事の多読をさせ読解力をつける。  
小エッセイを読み大意をまとめさせる。ジャーナル及びリポートの書き方指導。  
最終回授業でこれまでの復習及びテストと来学期に繋ぐためのクラス評価（学生による）。

【評価方法】 小テスト、定期試験、平常点及び出席率による総合評価。

【テキスト】 教科書、教材については各教員が学期初めに指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
01309 ) 01314	英語リーディングⅠ	必	春学期	各1	1	蜂須賀 幸志 久保 萬里子 渡辺 義和 金子 輝美
他の科目との関連						履修対象学科: 数理科学 情報通信

【講義内容】 高校で身につけた基礎的な読む力・書く力を総合的に増強し、2年次以降英語で専門分野の文献が読めるような基礎力をのばす。

【講義計画】 高校で習得した英語の基本的能力を増強するため、容易なリーディングを様々な教材から多読させて、内容把握に重点を置く事から始める。基本を押さえた上でコンピュータ関連、情報関連の英語、用語に慣れさせて、インターネット通信から生の英語の情報が入手でき専門文献が読めるようにする。

【評価方法】 小テスト、レポート、定期試験、出席率による総合評価。

【テキスト】 教科書、教材は各教員が指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
01351 ) 01358	英語リーディングⅡ	必	秋学期	各1	1	蜂須賀 幸志 久保 萬里子 渡辺 義和 大森 裕實
他の科目との関連						履修対象学科: 総合政策

【講義内容】 春学期に引き続き、基礎語学力の増強を行い、英語の文献を読みこなしたり、英文で簡単なレポートを書くための語彙・文法を習得させる。

**【講義計画】** 英語リーディングⅠで習得した読解力を増強するため、経済・ビジネス用語をマスターさせる。Time, Newsweek誌等からタイムリーな政治・経済の話題を読み大意を書かせる（書く力を養う）。教科書及びその他教材から種々なショートストーリーを要約させて読解力、文法力、書く力を増強。新聞の社説・コラムの読み方指導。レポート作成訓練。最終回授業でこれまでの復習及び試験。来学期に繋ぐためのクラス評価（学生による授業にたいする評価）。

**【評価方法】** 小テスト、定期試験、レポート、平常点及び出席率による総合評価。

**【テキスト】** 教科書、教材は各教員が指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
01359 ） 01364	英語リーディングⅡ	必	秋学期	各1	1	蜂須賀 幸志 久保 萬里子 渡辺 義和 BRYER Philip 金子 輝美
他の科目との関連						履修対象学科  数理科学 情報通信

**【講義内容】** 春学期に引き続き、基礎語学力を増強を行い、英語の文献を読みこなしたり、英文で簡単なレポートを書くための語彙・文法を習得させる。

**【講義計画】** 高校で習得した英語の基本的能力を増強するため、容易なリーディングを様々な教材から多読させて、内容把握に重点を置くことから始める。基本を押さえた上でコンピュータ関連、情報関連の英語、用語に慣れさせて、インターネット通信から生の英語の情報が入手でき専門文献が読めるようにする。

**【評価方法】** 小テスト、レポート、定期試験、出席率による総合評価。

**【テキスト】** 教科書、教材は各教員が指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
01371 ） 01375	英語リーディングⅢ	選	秋学期	各2	2	蜂須賀 幸志 久保 萬里子 渡辺 義和 O'CONNEL Sean 船橋 眞喜子
他の科目との関連						履修対象学科  総合 政策

**【講義内容】** これまで培ってきた基礎的な英語能力を応用し専門分野に関連する多様な資料を多読する。速読のテクニックやサマリーの作成についても学習する。

**【講義計画】** 英語リーディングⅠとⅡで習得した基本的な英語力を基礎に、より専門的な分野でのリーディング力、ライティング力、語彙力を身につける。ビジネスの状況のシミュレーション、異文化間コミュニケーション、社会問題とその分析を、英字新聞、英字雑誌、学術書等から、現代社会を焦点においた教材を使用して行う。最終的な目標は、3年次、4年次において読む必要の出でくる原文での文献を理解する為の下地を形成すること、及び、卒業後、英語を使用して社会生活を送ることを可能にする基礎力を養うことである。但し、各教員により授業のフォーカスは異なる。それぞれのクラスの詳細については春学期中に発表される。

**【評価方法】** 小テスト、定期試験、平常点、及び出席率による総合評価。

**【テキスト】** 具体的な教科書、教材については各教員が学期初めに指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
01401 )\n01406	英語 I	必	春学期	各2	2	LEIBTSEDER Christine 蜂須賀 幸志 久保 萬里子 BRYER Philip CALANTAS Teresita 渡辺 義和 和田 珠実
他の科目との関連						履修:数理科学 対象学科:情報通信

【講義内容】 これまで身に付けた英語力をもとにCALL (Computer Assisted Language Learning) 等を多用し、専門分野に関連する文献を多読することによって、英語による情報収集の力をつける。

【講義計画】 英語リーディング I, II, (1年次) で習得した読解力をさらに増強して、専門分野の文献を正確に読み取り内容把握することに焦点を置く。そのために極力、コンピューターを利用して、世界各国のIT改革に目をむけるようにインターネットから情報収集した資料を組み込んだ授業で文献を読むばかりでなく、実際に世界で使われている生の英語に触れさせる。

【評価方法】 小テスト、定期試験、レポート、平常点、出席率による総合評価

【テキスト】 教科書、教材は各教員の指示による。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
01451 )\n01456	英語 II	必	秋学期	各2	2	LEIBTSEDER Christine 蜂須賀 幸志 久保 萬里子 BRYER Philip CALANTAS Teresita GUBBINS Janice 渡辺 義和 和田 珠実
他の科目との関連						履修:数理科学 対象学科:情報通信

【講義内容】 英語 I と同様に、CALL を利用し、専門分野について書かれた文献に数多く接することを目的とする。この学習作業により英語の「読み」を実用に耐えうるようなレベルに引き上げる。

【講義計画】 英語 I をもとに、数多くの英文に触れることにより、さらに語彙力の増強をはかり、読解力をつけると同時に、パラグラフの理解、英語の論理の展開など文献を読む上での必要事項を習得する。  
インターネットの利用により、情報収集をしたり、専門分野の文献にあたる。

【評価方法】 定期試験の他に、小テスト・課題・出席状況や活動などをもとに、総合的に評価される。

【テキスト】 担当教員の指示による。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
01501 } 01503	中国語 I	選必	春学期	各4	2	陳 兆 麗 梁 暁 虹 原 田 直 枝
他の科目 との関連						履 修 綜 合 対象学科 政策

【講義内容】 中国語を正しく運用するために不可欠な、発音のシステム・基本文法についての確実な知識の習得をはかる。さらに、一つの語法にも多様な用途があることを踏まえ、各種語法を柔軟に使いこなせるよう、具体的な場면을想定して訓練をおこなう。

【講義計画】

- ・中国語の母音・子音、及び声調の正しい発音と聞き取りを身につける。
- ・日常の基本用語の語彙理解と運用の練習をおこなう。
- ・基本的な会話表現の運用方法の習得をめざす。
- ・400～500語程度の語彙習得をめざす。
- ・中国語を通して、中国語文化圏についての知識を拡充することをめざす。

【評価方法】 定期試験の結果に、小テスト、授業時の学習状況等を総合して評価をおこなう。授業への欠席が1/3を超えた者は、S評価とする。

【テキスト】 教科書は、別途指示する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
01551 } 01553	中国語 II	選	秋学期	各2	2	陳 兆 麗 梁 暁 虹 原 田 直 枝
他の科目 との関連						履 修 綜 合 対象学科 政策

【講義内容】 中国語 I で学んだ基礎知識を応用し、聞く、話す、読む、書くの4技巧をさらに発展させ、コミュニケーション・スキルを身につける。

【講義計画】

- ・中国語 I で習得した中国語能力を、より柔軟に運用するための、一段階高度な応用練習をおこなう。
- ・基本的なコミュニケーションを、より確実に不自由なく実践するための、豊富な表現力を養成する。
- ・600～800語程度の語彙習得をめざす。

【評価方法】 定期試験の結果に、小テスト、授業時の学習状況等を総合して評価をおこなう。授業への欠席が1/3を超えた者は、S評価とする。

【テキスト】 教科書は、別途指示する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
02101 02102	フランス語 I	選必	春学期	各4	2	HOLLAND Ronald 田 所 光 男
他の科目 との関連	異文化との出会い（フランス語圏文化）を登録しておくことが望ましい					履 修 綜 合 対象学科 政策

【講義内容】 フランス語の聞き取りと発音の訓練を徹底的に行い、もっとも基本的な単語と文法を学習する。さらに、実際の場面で使用される初歩的な会話を学習する。

【講義計画】

- 1 Alphabet、つづりと発音、曜日、挨拶、les nombres（0～20）
- 2 Singulier et pluriel、不定冠詞、interrogation/affirmation/négation、20～100。
- 3 Je-tu-il etc、動詞être、名詞・形容詞の性と形、de/des、le/la/l'/les。

- 4 動詞avoir/il y a、指示形容詞ce/cette等、moi/toi/lui etc.、所属、-er動詞。
- 5 Possessifs所有形容詞mon/ton etc.、Interrogatifs疑問形容詞quel/quelle等。
- 6 縮約au/aux/du/des、目的pour、否定疑問oui/non/si、aller、venir、sortir。
- 7 部分冠詞du/de la/de l'/des、代名詞yとen、-ir動詞、faire、prendre、boire。
- 8 直接・間接目的補語、vouloir/pouvoir/devoir、命令法、savoir、connaître、dire、écrire。
- 9 複合過去avec avoir、aller+不定詞、命令文+代名詞、recevoir、lire、mettre。
- 10 Le futur単純未来、l'imparfait半過去、voir、il faut。
- 11 Le conditionnel条件法現在、croire、partir、ouvrir、-re動詞。
- 12 Révisionや期末試験の説明。

【評価方法】 評価は、日頃の小テスト、期末試験及び出席状況によります。

【テキスト】 テキスト；Nouveau C'est la vie！、プリント  
字引き；Passeport：petit dictionnaire パスポール 仏和・和仏小辞典（白水社）634p.

【その他】 時にはchansons、スライド、ビデオ、ゲーム等も予定されています。  
「ゼロ」からの言語ですので、皆出席が望ましいです。  
各leçonに暗誦するdialogueを寸劇の形で演じていただきます。  
Cercle français、仏検、研修旅行、短期・長期留学やホーム・ステイの指導もします。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
02151 02152	フランス語Ⅱ	選	秋学期	各2	2	HOLLAND Ronald 田所 光男	
他の科目との関連						履修対象学科	総合政策

【講義内容】 フランス語Ⅰで学んだ基礎知識を応用し、聞く、話す、読む、書くの4技能をさらに発展させ、コミュニケーション・スキルを身につける。

【講義計画】

- 1 春期のRévision
- 2 複合過去avec être、Verbes pronominaux代名動詞、venir de+inf.
- 3 Le gérondif、関係代名詞qui/que/où/dont、強調構文。
- 4 接続法現在subjunctif présent、比較級comparatif、最上級superlatif。
- 5 疑問代名詞pronoms interrogatifs、指示代名詞pronoms démonstratifs。
- 6 直接・間接話法、dormir。
- 7 所有代名詞pronoms possessifs。Internet en français。
- 8 直説法単純過去passé simple
- 9 非人称動詞il fait beau等、序数詞premier/deuxième等。
- 10 受動態la voix passive。
- 11 大過去le plus-que-parfait。
- 12 Révisionや期末試験の説明。

【評価方法】 評価は、小テスト、期末試験及び出席状況によります。

【テキスト】 未定、プリント

【その他】 暗誦するdialoguesも相変わらず行います。chansonsやvidéoなどももちろん。  
皆出席が望ましいです。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
02501 02502	スペイン語Ⅰ	選必	春学期	各4	2	浅香 幸枝 木下 まりあ	
他の科目との関連						履修対象学科	総合政策

【講義内容】 スペイン語でコミュニケーションをするための基礎的文法を学ぶ。直説法現在の動詞活用を中心に、日常会話に使用されるレベルの文法を説明する。

- 【講義計画】
1. パーティーで自己紹介
  2. 教室の中で
  3. 飛行機の中で
  4. 飛行場で
  5. 旅行先で（セビーリャへ）
  6. 旅行先で（マドリッドへ）
  7. 留学生活―日常の生活
  8. 道を尋ねる
  9. 手紙の書き方
  10. レストランでの食事
  11. 天気について
  12. 買い物

【評価方法】 出席状況、および授業への参加度、小テスト、レポートの総合評定。

- 【テキスト】
- Antena I -- Curso de Español para Extranjeros --, Sociedad General Española de librería, s.a.
  - 『META 自然に身につくスペイン語』芸林書房
  - 『プログレッシブ スペイン語事典』第2版、小学館

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
02551 02552	スペイン語Ⅱ	選	秋学期	各2	2	浅香 幸枝 木下 まりあ	
他の科目との関連						履修対象学科	総合政策

【講義内容】 スペイン語Ⅰで学んだ基礎知識を応用し、聞く、話す、読む、書くの4技能をさらに発展させ、コミュニケーション・スキルを身につける。

- 【講義計画】
1. 銀行で
  2. お祭りに行く
  3. 職業について
  4. プレゼントの仕方
  5. 日記
  6. 自動車ラリー
  7. 乗馬
  8. 別荘で
  9. 医者に行く
  10. インタビュー
  11. 世界旅行（1）
  12. 世界旅行（2）

【評価方法】 出席状況、および授業への参加度、小テスト、レポートの総合評定。

- 【テキスト】
- Antena I -- Curso de Español para Extranjeros --, Sociedad General Española de librería, s.a.
  - 『META 自然に身につくスペイン語』芸林書房
  - 『プログレッシブ スペイン語事典』第2版、小学館

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
03101	外国語Ⅰ	選必	通年	1	2	近藤 祐一	
他の科目との関連	外国語Ⅱを同時に履修登録すること。					履修対象学科	総合政策

【講義内容】 「外国語Ⅱ」で行われる短期アジア留学プログラムに参加する学生のために開講し、異文化コミュニケーションの基本的な理論、言語学習について学ぶ。また、短期アジア留学プログラム参加前にはフィールドプロジェクトの計画を行い、参加後にはその評価を行う。

【講義計画】 外国語Ⅰは1単位であるため、年間30時間の授業を行い、情報提供型の授業ではなく、一ヶ月間の滞在に必要な態度、行動様式が身につけられるような参加型の授業を行う。

- 第一回 全体オリエンテーション
- 第二回 フィールドプロジェクト目標設定  
フィールドプロジェクトグループの編成、プロジェクトの内容に関するブレインストーミング
- 第三回 社会・文化学習1  
派遣先の社会・文化に関する基本的情報の収集方法について話し合い、必要と思われる基本情報を収集する。
- 第四回 言語学習  
派遣先において必要な言語学習方法をロールプレイやシミュレーションを用いて学習する。
- 第五回 社会・文化学習2・フィールドプロジェクト計画中間発表  
収集した基本的情報を取りまとめ発表する。また、フィールドプロジェクトの計画について中間発表を行い、他の参加者からのフィードバックを受ける。
- 第六回 異文化コミュニケーション  
派遣先において必要なコミュニケーション方法をロールプレイやシミュレーションを用いて学習する。
- 第七回 出発前オリエンテーション
- 第八回 フィールドプロジェクト発表  
研修後、フィールドプロジェクトを取りまとめ、他の国・地域のプログラム参加者に対して発表を行う。

【評価方法】 授業への積極的参加、派遣先におけるフィールドプロジェクトの実施案、および最終発表・レポートによる。

【テキスト】 適宜ハンドアウトを配布。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
03111 03121 03131 03141 03151 03161	外国語Ⅱ (中国語) (韓国語) (マレイ・インドネシア語) (ベトナム語) (フィリピン語) (タイ語)	選必	夏期前半 冬期集中	各5	2	周 錦樟 青 木 清 近 藤 祐一 宮 沢 千尋 MUNCADA Felipe 須 藤 季夫
他の科目との関連	外国語Ⅰを同時に履修登録すること。					履修対象学科   総合政策

【講義内容】 海外において、現地で使用されている語学を集中的に学習するための短期留学プログラムに参加し、コミュニケーション・スキルを獲得するとともに、異文化体験を通して世界市民としての素養を身につける。担当者は、本プログラムの現地提携校との調整役として同行する。

【講義計画】 外国語Ⅱでは派遣先大学において集中語学訓練およびフィールドワークを行う。

派遣先大学は韓南大学（韓国語）、成功大学（中国語）、アテネオ・デ・マニラ大学（フィリピン語）、タンロン大学（ベトナム語）、コーンケン大学（タイ語）、マレイシア科学大学（マレイ・インドネシア語）となっており、それぞれの大学の教員による集中語学訓練が行われる。

4週間の授業では、平日の午前中3時間が語学集中訓練、午後および週末がフィールドワークを行うようになっている。集中語学訓練は、進度が速いため、毎日の予習・復習が必要である。午後のプログラムについては派遣先大学が各国・各地域の事情に合わせたものを用意しているので、積極的にプログラムに参加し、派遣先の社会・文化を学び取ることが求められる。

【評価方法】 語学集中訓練における成績をもとに総合的に評価する。

【テキスト】 派遣先大学の指定のものを使用。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
03501 03502	日本語 I (文法)	選	春学期 秋学期	各10	1	梅田 康子 山口 薫	
他の科目との関連						履修 対象学科	総合 政策

【講義内容】 日本語の初級文法に重点を置き、日本の大学で生活・学習するうえで必要とされる基本的な4技能の習得を目標とする。

【講義計画】 南山大学で学習、生活していく上で必要となる、基本的な文法項目の習得を目標とする。文型練習や口頭練習を中心に行ない、適宜作文や読解の練習も組み入れていく。

【評価方法】 出席や授業中の学習状況、宿題、テスト（クイズ、まとめテスト、定期テスト）の結果を総合して評価を行なう。

【テキスト】 教科書、教材については、各教員が学期初めに指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
03511 03512	日本語 I (会話・運用)	選	春学期 秋学期	各2	1	西隈 俊哉	
他の科目との関連						履修 対象学科	総合 政策

【講義内容】 日本語 I (文法) で学んだことを使い、実際の場面に応じて運用する力、特に聞く・話す力を養うことを目的とする。

【講義計画】 日本語 I (文法) で学んだ基本的文法構造を用い、場面や対人関係に応じて日本語を自然に運用できる力を養えるような練習を中心に行なう。  
日本事情に関する事項も、適宜取り入れていく。

【評価方法】 出席や授業中の学習状況、宿題、テスト等の結果を総合して評価を行なう。

【テキスト】 教科書、教材については、教員が学期初めに指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
03521 03522	日本語 II (文法)	選	春学期 秋学期	各8	1	山口 和代 三矢 真由美 横内 美保子 西隈 俊哉	
他の科目との関連						履修 対象学科	総合 政策

【講義内容】 日本語 I (文法) を基に、日本の大学で学習するうえで必要とされる4技能をさらに発展させる。

【講義計画】 中級の文法項目の学習と共に、読解練習、作文練習を行なう。学生によるプレゼンテーションも組み込んでゆく。漢字・語いの学習と、TV、新聞等の生の素材の学習を、並行して行なう。

【評価方法】 出席、宿題提出、クイズ、発表活動の成果、筆記・口頭試験を総合して、評価を行なう。

【テキスト】 教科書、教材については、各教員が学期初めに指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
03531 03532	日本語Ⅱ（会話・運用）	選	春学期 秋学期	各2	1	伊藤 由香
他の科目 との関連						履 修   総合 対象学科   政策

【講義内容】 日本語Ⅱ（文法）で学んだことを使い、教室場面に応じて運用する力、特に聞く・話す力を養うことを目的とする。

【講義計画】 初中級の学習項目を総覧するために、会話・運用の練習を重点的に行なう。大学生活における日常会話を中心に扱うが、講義や討論に対応する力の養成も並せて行なう。

【評価方法】 出席、宿題提出、クイズ、筆記・口頭試験等を総合して、評価を行なう。

【テキスト】 教科書、教材については、教員が学期初めに指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
03541 03542	日本語Ⅲ（作文・読解）	選	春学期 秋学期	各4	1・2	山口 和代
他の科目 との関連						履 修   総合 対象学科   政策

【講義内容】 授業履修に必要とされる、文献読解力及びレポート作成等の実践的な技術を養う。

【講義計画】  
1. 専門文献を選んで、読解発表を行なう。  
2. 小論文、レポート、論文など、改まった表現での書き方を学ぶ。

【評価方法】 出席状況、試験、提出物等で、総合的に評価する。

【テキスト】 教科書、教材については、教員が学期初めに指示する。

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
03551 03552	日本語Ⅲ（聴解・会話）	選	春学期 秋学期	各4	1・2	村上 かおり 魚住 友子
他の科目 との関連						履 修   総合 対象学科   政策

【講義内容】 授業履修に必要とされる、講義聴講及びディスカッション等の実践的な技術を養う。

【講義計画】  
1. ニュース、時事問題を扱ったテープやビデオ、生教材等を材料に、トピックや要点が把握できるような力をつける。  
2. 1の内容をもとに、ディスカッション等を行ない、実践的な技術力を高める。

【評価方法】 出席状況、試験、口頭発表、提出物等で総合的に評価する。

【テキスト】 教科書、教材については、各教員が学期初めに指示する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
03561 03562	日本語Ⅲ（総合）	選	春学期 秋学期	各2	1・2	梅田 康子
他の科目 との関連	基礎演習					履 修 対 象 学 科 総 合 政 策

【講義内容】 各自のテーマに沿って、資料・文献収集、まとめと発表、意見交換を行ない、それによって日本語を運用する総合的な力を養う。

【講義計画】

1. テーマを決めて、資料、文献収集の仕方を学ぶ。
2. 1を題材とした研究発表の仕方を学び、意見交換ができるようにする。
3. 小論文のまとめ方を学び、2で得た他者の評価を生かして、レポートを執筆する。

【評価方法】 出席状況、試験、口頭発表、提出物等で総合的に評価する。

【テキスト】 教科書、教材については、教員が学期初めに指示する。

## 4. 体育科目

### [基礎体育]

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
05101 } 05105 05106	基礎体育A	必	春学期 秋学期	各1	1	三浦 修史 池上 久子 寺田 邦昭 中平 恭平 中野 朋枝 平野 健彦 山田 和彦 天野 彦彦	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 大学期は、運動不足や生活の不摂生が直ちに自己の体力や健康に影響することを初めて実感する時期であろう。高校までは、競技スポーツなどの教材を通して、主として発育発達の助長を目的としたプログラムが中心であったが、本学の基礎体育は、身体運動の意義を確認するとともに、自己の健康管理とスポーツライフを自らが創造し、主体的に健康管理に組み組むためのプログラムである。

このうち、基礎体育Aでは、本学のトレーニングルームなどのスポーツ施設の使用法を熟知するため、施設の状況に基づいたプログラムが組まれる。その中で、体力診断、安全教育、スポーツのマイナス面の認識といった内容を加えつつ、トレーニングの科学、身体運動の科学に基づいた、健康づくり・動きづくりの方法を実践を通して体得させるものである。

【講義計画】 基礎体育Aは、3種目の組み合わせによるコースを選択履修する。このコースは原則として下記のように分類された種目群から編成される。様々な特性を持った複数の種目を実施することを通して、学生諸君の体力開発や動きづくりを目指す。詳細は、第1週のガイダンスで述べる。

フィットネス種目群	個人スポーツ種目群	集団スポーツ種目群
フィットネス	卓球	バレーボール
エアロビクス	バドミントン	バスケットボール
	硬式テニス	
	ゴルフ	

\*施設条件や担当者の専門性、さらには各時限ごとのクラス数や男女比によって、必ずしもこのような組み合わせにならない場合がある。

\*種目ごとに担当者および実施場所が変わる。

【評価方法】 基礎体育は実技科目であるから、基本的に、授業に出席し実際に身体を動かして学習を行うこと自体に意味がある。したがって、出席が最も重視されるべきものである。基礎体育では、授業日数の80%以上の出席があった者のみを評価の対象とし、欠席時数が授業予定総時数の20%を越える場合は、「欠席過多の(S)」による不合格になる。かつ出席状況の評価に大きな割合をさいている。そして、とくに基礎体育Aでは、前述のように、各種の種目を通じての学生諸君の体力開発や動きづくりをねらっているため、各個人の学習への取り組み方を重視し、運動技能の評価は行わない。

【その他】 体育実技を受けるにあたって適した服装を用意すること。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
05201 ┆ 05205 05206	基礎体育B	必	秋学期 春学期	各1	1	三浦 修史 上田 久昭 寺田 邦平 中路 恭 野平 朋枝 中山 健 野天 和彦
他の科目との関連						履修対象学科：全

**【講義内容】** ねらいは基礎体育Aと同様であるが、基礎体育Bでは、健康・体力づくりに重点をおいた種目、生涯スポーツ・運動技術学習に重点をおいた種目、社会的陶冶・スポーツコミュニケーション等に重点をおいた種目等、それぞれの特徴を持ったスポーツ教材のうち、1種目を履修者に選択させて授業を行う。この課程において、今後の健康管理、また豊かなライフスタイルの一翼を担うべき生涯スポーツや教養を履修者に発見・習得させ、その日常への応用をはかるものである。

**【講義計画】**

1. 第1週目に種目選択を実施する。これに出席した履修者が種目選択上の第1の優先権を持つ。
2. 種目の選択にあたっての必要な情報は、第1週に用意する。
3. 開講予定の種目は時限によって異なるが、総じて次のようである。  
硬式テニス、ゴルフ、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、フィットネス、エアロビクス、スキー

**【評価方法】** 欠席時数が授業予定数の20%を越える場合、「欠席過多 (S)」による不合格とする。

**【そ の 他】** 体育実技を受けるにあたって適した服装を用意すること。

### [スポーツ実技]

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
05501	スポーツ実技 (リフレッシュスポーツ)	選	春学期	1	2~4	三浦 修史
他の科目との関連	基礎体育A、Bの単位を修得していること。					履修対象学科：全

**【副 題】** バレーボール

**【講義内容】** 受験勉強に追われスポーツと縁遠い生活を送っていた学生を対象として開かれるもので、スポーツ技術を含め広く新しい要素を日常生活の中に取り入れ、これからの生活をより能動的に過ごすことによって、多面的な満足を得る能力の習得を目標とします。

**【講義計画】** 日常生活の余暇に、気分転換に、スポーツを楽しむことの必要性が叫ばれる現在、バレーボールは年齢性別問わずできるレクリエーションスポーツとしては最適な種目です。勉学に、仕事への活力を生むことを目標に、自由時間にちょっと上着を脱ぎ、身体を躍動させボールを追いかけるつもりで取り組んで下さい。

この授業は、あまり緊張せずにプレイを楽しむことが大切です。部分的技術の練習よりも、総合的技術の練習に重きを置きます。いわゆる全習法に重点を置きます。

学生諸君、休養、適度な気分転換をはかるためにバレーボールを教材として技術の習得、リーダーシップを体得しましょう。

**【評価方法】** 授業への取り組み姿勢を大きく評価します。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
05502	スポーツ実技(リフレッシュスポーツ)	選	夏期後半	1	2~4	坪田 暢允	
他の科目との関連	基礎体育A、Bの単位を修得していること。					履修対象学科	全

【副題】 ゴルフ

【講義内容】 受験勉強に追われスポーツとは縁遠い生活を送っていた学生を対象として開かれるもので、スポーツ技術を含め広く新しい要素を日常生活の中に取り入れ、これからの生活をより能動的に過ごすことによって、多面的な満足を得る能力の習得を目標とする。

【講義計画】 ゴルフは、日本では競技人口が多く、一般社会では最もポピュラーなスポーツである。中学や高校では授業としてゴルフを実施しているところが少なく、大学で初めて経験するものが多い。静止しているボールを打つことは容易にみえるが、一瞬の間に非常に大きなパワーの発揮と正確な動作が要求されることから他のスポーツと比べて難しいと言われている。練習場ではショートアイアン、ミドルアイアン、ロングアイアン、ドライバーショット、パッティング、バンカーショットの技術を経験し、本コースにおいて十分ラウンドできる基礎を作る。ゴルフに必要な技術のみならず、マナーやエチケットも習得する。ゴルフは個々の体力に応じてプレーを行うことができるため、男女を問わず楽しむことができ、学生時代にゴルフに必要な技術を身に付けることは、健康増進やレジャースポーツとして将来役立つことと思われる。

基礎的な技術は、ゴルフ練習場（ゴルフ倶楽部大樹）で多くのボールを打って習得する。愛知県森林公園ゴルフ場でコースをハーフラウンドし、実践技術を習得する。

定員は20名とする。実習費として11,000円（交通費、練習ボール代、コースボール代、手袋、貸しゴルフクラブ代を含む。昼食費は含まない）が必要であり、このうち申込金として5,000円を前納する。

事前授業：2002年4月17日（水）午後1時30分～午後3時 C203教室  
2002年7月3日（水）午後1時30分～午後3時 C203教室  
※事前授業の日時、場所は掲示で正式に通知する。

学外授業：ゴルフ倶楽部大樹で基礎練習：  
2002年9月12（木）、13（金）、18（水）、19日（木） 9：30～16：00  
愛知県森林公園ゴルフ場で実践練習：  
2002年9月20日（金）14：00～18：30

【評価方法】 受講態度等を合わせて総合的に評価する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
05511	スポーツ実技（生涯スポーツ）	選	夏期後半	1	2~4	池上 久子	
他の科目との関連	基礎体育A、Bの単位を修得していること					履修対象学科	全

【副題】 ゴルフ

【講義内容】 現在、運動不足からくる体力低下、過体重、生活習慣病等の不安を感じている学生を対象として開かれるもので、卒業後の社会生活においても能動的体力を向上させることから健康を維持、増強させて生活できるような能力の習得を目標とします。

【講義計画】 ゴルフというスポーツは、より遠くに、そしてより正確にターゲットに向かってボールを打つことが要求されるが、ボールをより遠くに飛ばすためにはインパクト時のクラブヘッドの速度を大きくする必要があります。しかし、手から打撃面が離れており、しかも打撃面が狭いことからクラブを速く振ればうまくボールに当らなく、正確性が欠けることになる。したがって正確性と速さの両立が要求されるゴルフのスイング動作は、他の打動作に比べ難しいといえる。ゴルフは地形や風などにも影響されることから、変化にとんだスポーツであり、多くの要素を含んでいることから、難しいけれど面白いスポーツとして、多くの人に生涯スポーツとして親しまれている。この授業では、身体の運動のしくみを理解しながら、ゴルフに必要な身体の動きを客観的に体得することによって、効率のよいゴルフ技術の習得を目指す。

練習場ではショートアイアン、ミドルアイアン、ロングアイアン、ドライバーショット、パッティング、

バンカーショットの技術を身につけ、本コースにおいて十分ラウンドできる基礎を作る。ゴルフに必要な技術のみならず、マナーやエチケットも習得する。

基礎的な技術は、ゴルフ練習場（ゴルフ倶楽部大樹）で多くのボールを打って習得する。愛知県森林公園ゴルフ場でコースをハーフラウンドし、実践技術を習得する。

定員は11名とする。実習費として11,000円（練習ボール代、コースラウンドフィー、コースボール代、手袋、貸しゴルフクラブ代、昼食費）が必要であり、このうち申込金として5,000円を前納する。

事前授業：2002年4月17日（水）午後1時30分～午後3時 C203教室

2002年7月3日（水）午後1時30分～午後3時 C203教室

※ 事前授業の日時、場所は掲示で正式に通知する。

学外授業：ゴルフ倶楽部大樹で基礎練習：

2002年9月12（木）、13（金）、18（水）、19日（木）9:30～16:00

愛知県森林公園ゴルフ場で実践練習：

2002年9月20日（金）14:00～18:30

【評価方法】 受講態度等を合わせて総合的に評価する。

【テキスト】 資料配付

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
05512	スポーツ実技（生涯スポーツ）	選	秋学期	1	2～4	三浦 修史	
他の科目との関連	基礎体育A、Bの単位を修得していること。					履修対象学科	全

【副題】 フィットネス

【講義内容】 現在、運動不足から来る体力低下、過体重、生活習慣病等の不安を感じている学生を対象として開かれるもので、卒業後の社会生活においても能動的、受動的体力を向上させることから健康を維持、増強させて生活できるような能力の習得を目標とする。

【講義計画】 我々は高度に機械化された社会、つまり電車、自動車、エレベーター、エスカレーターなどによって省力化された環境に慣らされている。省力化されて動かなくなった身体は、適度な運動を行うことによって、その機能は保たれるであろうし過食によるエネルギーの摂取過剰は、運動によって調節することが必要である。この授業では、自ら栄養の管理をし、運動不足を解消できる能力を身につけることを目標におこなうものである。健康維持増進、体力開発、皮下脂肪を減らすことに興味を持つ学生の受講を希望する。

1. 自らの体力、体型を診断する。
2. 万歩計により一日の運動量を算出する。その値と摂取エネルギーとの関係から適正な運動量を知る。
3. 現在の状態を理解したうえで、個人に合ったトレーニングメニューを作成し実施する。

【評価方法】 上記の活動への取り組みかたを総合的に評価する。出席はもちろん重視する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
05513	スポーツ実技（生涯スポーツ）	選	秋学期	1	2～4	池上 久子	
他の科目との関連	基礎体育A、Bの単位を修得していること					履修対象学科	全

【副題】 卓球

【講義内容】 現在、運動不足からくる体力低下、過体重、生活習慣病等の不安を感じている学生を対象として開かれるもので、卒業後の社会生活においても能動的体力を向上させることから健康を維持、増強させて生活できるような能力の習得を目標とします。

【講義計画】 卓球は長さ274cm、幅152.5cm、高さ76cmのコートで、球技の中では最も軽い約2.7gで直径40mmのボールを使用して行うスポーツである。卓球は天候に左右されることなく室内でしかも狭いところでも卓球台があ

ればプレーすることができ、ボールが軽いので、腕力や体力がなくてもレベルに応じて楽しむことができる。初めてラケットを握る人でもボールを返球する技術を身につければ、短時間でラリーが続くようになり、簡易ルールでゲームを楽しむことができる。速いボールを打ったり、遅いボールを打ったり、ボールに緩急の変化をつけたり、ボールの打球点を変えて打つタイミングに変化をつけることもできる。また、ボールの回転には、トップスピン、バックスピン、サイドスピン、ノースピンがあり、色々な打法をマスターすることはとても難しいけれど楽しい。用具の研究や開発によって、スピードやパワーとともにスピンの競技でもあるといわれているが、戦型に応じて色々な戦い方ができ、考えるスポーツでもある。このように卓球は多くの技術要素が含まれて奥の深いスポーツであるが、とても手軽にできるスポーツである。体力のあるないに関わらず、技術レベルに応じてプレーを楽しむことができ、生涯を通して実施できるスポーツの一つである。ルールの改正によってボールの大きさが直径38mmから40mmに変更になり、ボールの表面積比は約10%大きくなった。ボールが大きくなったことから、ボール速度が遅くなり、回転がかけにくくなり、視覚的にボールに対する反応が速くなり、ラリーが続くようになると考えられるが、一層楽しくなることを願っている。

この授業においては卓球の運動のしぐみを理解しながら、卓球に必要な身体の動きを客観的に身につけることによって、効率のよい卓球技術の習得を目指す。

【評価方法】 受講態度等を合わせて総合的に評価する。

【テキスト】 資料配付

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
05514	スポーツ実技（生涯スポーツ）	選	冬期集中	1	2～4	三浦 修史	
他の科目との関連	基礎体育A、Bの単位を修得していること。					履修対象学科	全

【副題】 スキー

【講義内容】 現在、運動不足からくる体力低下、過体重、生活習慣病等の不安を感じている学生を対象として開かれるもので、卒業後の社会生活においても能動的体力を向上させることから健康を維持、増強させて生活できるような能力の習得を目標とします。

【講義計画】 現代社会では、運動不足を自覚していながら薬による消極的な健康法に頼る者が多くみられます。しかし、本当の健康とは、自然界の仕組みに立ち向かい身体を使ってこそ生まれるものです。すなわち、寒さ、暑さにたいして積極的に立ち向かって、身体を使ってこそ生まれるもので、心臓や他の器官にしても運動や、労働なしに機能を健全に維持していくことは考えられません。このような目的に合致したスポーツがスキーです。広い雪原で、自然と戯れながら友人とコミュニケーションを深めるすばらしさは、スキーを経験したことのある学生なら忘れることができないでしょう。この授業では、スキーの経験はないが、生涯スポーツとして技術を身につけたいと考える学生の受講を期待します。

実習地の赤倉スキー場は湯量の豊富な温泉を持つ日本でも有数のスキー場で、広大なゲレンデには初心者でも充分楽しめる多くのコースが整備されています。

実習費として32,000円（交通費、宿泊費、食費をふくむ。リフト代は含まない）が必要です。このうち申込金として5,000円を前納します。定員は20名です。

事前授業 2002年10月9日（水）13：30～15：00 C203教室  
2002年12月18日（水）13：30～15：00 C203教室  
※事前授業の日時、場所は掲示で正式に通知します。

スキー実習：2003年2月23日（日）～26日（水）

スキー実習では技術レベルにあったグループでの指導をおこないます。

【評価方法】 受講態度等を合わせて総合的に評価する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
05521	スポーツ実技（冬季のスポーツ）	選	冬期集中	1	2～4	坪田 暢允 池上 久子	
他の科目との関連	基礎体育A、Bの単位を修得していること。					履修対象学科	全

【副題】 スキー

【講義内容】 冬季スポーツの代表としてスキーとスケートがあげられる。これらは、レジャーとしても大いに親しまれているものである。授業は、スポーツの運動学的特性を理解し、基礎的な技術を身に付け、スポーツの楽しさを体験することを目的としている。

【講義計画】 スキーは、最もポピュラーな冬季スポーツの一つであり、運動不足になりがちな寒い冬に広大な大自然の中でさっそうと滑る醍醐味がある。自然の中で行われるスポーツの中でもスキーは、緩、急の斜面の変化や凹凸地形、雪の状態の変化を素早く読み取って対応する最適な動作が必要であり、他のスポーツでは味わえない面白さがある。そして、年齢を問わず生涯にわたって、仲間や家族でレジャーとして楽しむこともできる。学生時代に基礎的な滑走技術を身に付けることは、健康増進やレジャーとしての冬季のスポーツ活動を楽しむことに役立つことと思われる。この授業では、学生個人のスキーレベルに応じ、グループ別に技術指導を実施し、自然とのふれあいを体験し、安全に滑走できるスキー技術をマスターする。

実習地の赤倉スキー場は日本でも有数のスキー場のひとつとして、広大な面積を誇り初級者から上級までが楽しめる多くのコースが整備されている。日本の豪雪地帯でもあり、積雪量も豊富であるが、スノーマシンの設置でさらに長期間の滑走が可能となっている。

定員は20名とする。実習費として32,000円（交通費、宿泊費、食費を含む。リフト代、貸しスキー代は含まない）が必要であり、このうち申込金として5,000円を前納する。

事前授業：2002年10月9日（水）13：30～15：00 C203教室

2002年12月18日（水）13：00～15：00 C203教室

※事前授業の日時、場所は掲示で正式に通知する。

スキー実習：2003年2月23日（日）～26日（水）

【評価方法】 受講態度等を合わせて総合的に評価する。

## 5. テーマ科目

### [異文化との出会い]

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06101	異文化との出会い (キリスト教との出会い)	選必	春学期	2	1~4	VOLPE Angelina	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 紀元前1世紀にキリスト教と呼ばれたナザレのイエスの教えは、ヨーロッパに入り、宗教、社会、思想の精神的な革命を行った。犯罪者のように十字架に架けられ殺されたイエスとその弟子たちの教えは、ローマ帝国の世界観に、なぜ打ち勝つことができたのか。本講義は、16世紀に日本に入ったキリスト教が当初好ましい宗教として受け入れられたにもかかわらず途中から迫害されていった歴史的経緯を紹介し、ヨーロッパにおけるキリスト教との出会いと日本におけるそれとの違いを比較する。

【講義計画】

- ① 学生はキリスト教についてどんなイメージを持っているか。
- ② キリスト教を知るために、まず人間の根本的宗教心を知る必要がある。
- ③ 神、仏、聖なるものと呼ばれているものはまぼろしか、実在か。
- ④ ヘブライ人の神観。
- ⑤ イエスの時代のパレスチナの問題。
- ⑥ イエスの歴史上の存在。
- ⑦ イエスの普遍的なメッセージのオリジナリティ。
- ⑧ なぜヘブライ人はイエスを拒んだか。
- ⑨ キリスト教徒のいろいろな種類。裏切り者、権力者と聖人。
- ⑩ 日本文化におけるキリスト教。
- ⑪ 日本人とイエス。
- ⑫ イエスについて学生はどう思うか。

【評価方法】 定期的な小レポートと期末テストから総合的に評価する。

【テキスト】 G.リヴァ「イエスを知るために」(ドン・ボスコ社)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06111	異文化との出会い (文学にみる異文化受容)	選必	秋学期	2	1~4	浅香 幸枝	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【副題】 児童文学における異文化受容——比較文化社会論の視座から——

【講義内容】 児童文学作品の存在は近代社会において発達したものであったが、それは、子どもに最初に異文化を受容させる機会を与えている。本講義では、日本やスペイン語文化圏における児童文学を主に取り上げながら、児童文学を通しての子どもへの異文化受容のあり方を分析する。

【講義計画】

1. なぜ今児童文学なのか？
2. 「子ども」について
  - ・「子ども」の誕生
  - ・社会の発展段階と子ども
3. 「児童文学」について
  - ・昔話と再話
  - ・よい児童文学とは
4. 児童文学における家族の役割について
  - ・親と子
  - ・祖父母と孫
5. 児童文学における子どもと社会について
  - ・社会の中の子ども
6. 児童文学における妖怪たち

7. 児童文学における未来への勇気と希望
  - ・私に最も影響を与えた児童文学は何か？
  - ・作品の社会的文化的比較
8. わたしたちの夢を思い出してみよう

【評価方法】 成績は出席状況、授業への積極的な参加状況、レポートを総合評価する。

【テキスト】 浅香幸枝『異文化との出会い——比較文化社会論の視座から——日本の絵本における異文化受容』（株）山悦出版社

【その他】 資料：世界の児童文学作品、ビデオなど

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06121	異文化との出会い（異文化交流の諸相）	選必	春学期	2	1～4	渡辺 義和	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 地球規模のコミュニケーションが発達した現代では、一つの民族が孤立して存在することは難しい。人々は異民族との接触のなかに生きてきたといえる。本講義では、「民族の出会いのかたち」に焦点をあて、異文化交流の諸相を考察する。ここではネガティブ・ポジティブ両面の異文化交流が考察される。日本については在日外国人と日本人との異文化交流、あるいは日本人の海外での異文化との出会いなどを、文学作品、映像作品なども援用しつつ考察する。

- 【講義計画】
- 1 社会と文化、そして言語学
  - 2 地域性、歴史、文化の違いにおける言語特徴
  - 3 性差、年齢差
  - 4 状況差：レジスター
  - 5 研究方法：ラボブの研究  
定性分析：定量分析、変種調査、観察、分析
  - 6 グループプロジェクト説明、ディスカッション
  - 7 談話分析から見た異文化間コミュニケーション  
呼びかけ表現、丁寧表現、言葉のイメージの文化的違い
  - 8 会話スタイル：異文化コミュニケーションスタイル
  - 9 含意に現れる文化的違い
  - 10 異文化における非言語の重要性
  - 11 談話分析の実践
  - 12 「文化と社会と言葉」を再考する

【評価方法】 成績は出席状況、グループプロジェクト、試験の成績、平常点等を参考にしてつける。

【テキスト】 田中春美、田中幸子編著「社会言語学への招待」、及び英語、日本語で書かれた参考資料

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06131	異文化との出会い (南アフリカを知る)	選必	春学期	2	1～4	蜂須賀 幸志	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 国連に50ヶ国が名を連ねるアフリカ諸国は無視できない存在となっている。とくに南アフリカ共和国の経済情勢は欧米諸国からも注視されている。異なる150種族から構成される複雑な社会構造でありながら、各種族がエスニシティを堅持しつつ統合された社会へ融合している。こうした社会背景を形成している文化を概観し、南アフリカ共和国マンデラ以後の経済政策がアフリカ諸国に与えている影響に焦点を置き、現代アフリカの抱えている問題を考察する。

- 【講義計画】
1. 導入：南部アフリカの風土についての概説
  2. 南アフリカ共和国の成立の概略

3. ヨーロッパ系白人のケープ湾入植
4. ボーア人と原住民の共存
5. アパルトヘイト条例成立の背景（これまでの復習と小テスト）
6. 白人、黒人、カラード、アジア民族の社会的位置づけ
7. 南ア共和国の国内外経済政策 1.
8. 同上 2.（これまでの復習と小テスト）
9. アパルトヘイト政策の崩壊
10. 同上
11. ポストアパルトヘイトーマンデラ政権の成立とその後継者による政策
12. これまでの復習とレポート作成

【評価方法】 小テスト、レポートおよび出席率による総合評価

【テキスト】 プリント使用

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
06141	異文化との出会い (フランス語圏文化)	選必	秋学期	2	1~4	HOLLAND Ronald
他の科目との関連	フランス語					履修対象学科 全

【講義内容】 ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカ、カリブ海、インド洋、太平洋、アジアにおける フランス語使用国会議加盟国と、その歴史的起源及び加盟国をつなぐ数々の国際機関を考察する。それらの国々の視覚上のイメージを明確に提示するためにビデオを利用する。とくに加盟国の大多数があるアフリカの国々に注意を払う。また、カナダ（ケベック州）を北の先進国の代表として、マダガスカルを南の発展途上国の主要な例として詳しく紹介する。毎回、15分程度の簡単なフランス語やフランス語圏文化にも触れる。

【講義計画】 第1回：La Francophonie（＝フランス語圏の40余りの国々）の全体像。  
 2：La Francophonieの歴史的起源や数多くの国際機関の現状。  
 3：西ヨーロッパ：フランス、ベルギー、スイスなど。Francophonieの科学技術の紹介。  
 4：東ヨーロッパの加盟国：ルーマニア、ブルガリアなど。Francophonieのメディア、インターネット等。  
 5：南北アメリカやカリブ海：カナダ、ハイチなど。Francophonieのchansons（シャンソン）。  
 6：カナダに於けるFrancophonie：Québec, Acadie, その他。教育やbilinguisme。  
 7：近東、極東、インド洋、南太平洋の加盟国。Francophonieの映画界や美術など。  
 8：マダガスカルに於けるFrancophonie：歴史、経済、社会、フランス語による教育、文学等。  
 9：北アフリカの国々：モロッコ、アルジェリア、チュニジア、エジプト。Francophonieのサミットなど。  
 10：ブラック・アフリカ：そのⅠ西アフリカ→セネガル、コート・ディボワール等。フランス語圏文学。  
 11：ブラック・アフリカ：そのⅡ中央アフリカ→カメルーン、ガボン、コンゴ等。フランス語の外来語。  
 12：La Francophonie以外のフランス語の存在など。復習及び試験の説明。

【評価方法】 出席状況はもちろん、小テスト（毎回）、試験等（欠席過多を適用する）。

【テキスト】 プリント

【その他】 フランス語を勉強したいと思う学生にとっては、この科目を受講することが望ましい。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
06151	異文化との出会い (日本文化論)	選必	秋学期	2	1~4	樋口 浩造
他の科目との関連						履修対象学科 全

【講義内容】 異文化（＝他者）との出会いは、異文化を鏡とした自文化（＝自己）との出会いでもある。他者の表象は、常に自己の位置の確定を伴うのである。「日本」が西洋近代世界に組み込まれて以後、再生産され続けた「日本文化論」は、対西洋認識と表裏をなすものとして存在している。「日本文化論」は一方で対西洋と

としての自己像を提出するが、もう一方で「遅れた」「野蠻」を排除する「文明」としての自己像をも構成する。自己と他者（自文化と異文化）を区別することによって成立する「日本文化論」を、戦後の批判的研究を中心に紹介・検討する。

【講義計画】	第1回	「文化」を語ることの諸問題	
	第2回	E. サイードのオリエンタリズムをめぐって (1)	
	第3回	〃	(2)
	第4回	〃	(3)
	第5回	否定的特殊日本文化論 (1)	丸山真男
	第6回	〃 (2)	坂口安吾
	第7回	90年代の日本文化論 (1)	網野善彦
	第8回	〃 (2)	青木保
	第9回	オリエンタリズム批判と文化研究 (1)	富山一郎
	第10回	〃 (2)	子安宣邦
	第11回	〃 (3)	姜尚中
	第12回	〃 (4)	松田京子
	第13回	〃 (5)	荒山正彦

【評価方法】 定期試験を基本にした総合評価

【テキスト】 なし。毎回プリントを配布する。

## [生命と環境]

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06301	生命と環境 (環境倫理)	選必	春学期	2	1~4	高橋 広次	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【副題】 自然保護の法と倫理

【講義内容】 環境危機をきっかけに1970年代より登場し始めた環境倫理学により、従来の近代的倫理の枠組を打破しようとする新しい環境思想が次々と打ち出されていった。本講義はそれらの思想や思想間で交わされている活発な論争を紹介しつつ、その議論の妥当性を吟味する。次に、環境問題の根本的な克服は新しい国家理念の創出を要請するが、従来の法治—社会国家像に代わって国家理念はいかにあるべきか、そしてその理念を具体化するためにはどのような法政策や経済政策が立てられるべきかを考えながら、テクノクラシー下であって現れにくくなった現代人の環境意識を高めるよう努める。

【講義計画】 (1) 地球規模の正義とは？  
(2) 廃棄の限界と資源の限界  
(3) 自然物の権利？  
(4) 世代間の公正  
(5) 自然保護  
(6) 消費者の自由と責任

【評価方法】 成績の評価は定期試験の結果による。また講義の出席も重視する。

【テキスト】 加藤尚武編『環境と倫理』（有斐閣）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06311	生命と環境 (経済と環境問題)	選必	秋学期	2	1~4	若井 隆司	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【副題】 エコロジーと経済について考える



科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06331	生命と環境 (自然環境と生物)	選必	春学期	2	1~4	江田 信豊	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 私たちを取り巻く地球環境は現在刻々と変化しており、21世紀には温暖化やオゾン層の破壊、熱帯林の消失及び野生動物の減少が問題化するといわれている。講義では、まず地球環境のしくみを生態学的にとらえ、我々を取り巻く地球の自然環境についての基礎知識を理解する。そして、その上になって現在問題にされている地球の温暖化や酸性雨の問題やゴミ問題、地球上から消えゆく熱帯林やその環境に依存している動植物の減少を、今日的な目でとらえそれぞれの問題について考えていく。

- 【講義計画】
1. 移入生物と日本の環境  
え！モンシロチョウって外国人（蝶）
  2. ゴミ問題と生物
  3. ゴミの分別方法はこのままでよいのか？
  4. 海外に見るゴミ問題の未来
  5. ダイオキシン 化学構造と単位・毒性
  6. ダイオキシンの人体に与える影響
  7. 日本におけるダイオキシン汚染  
現地からの報告（豊島問題）
  8. 環境ホルモンと生物学的濃縮
  9. 環境ホルモンの生物に対する影響
  10. あなたのまわりのシャンプー、リンス、ラップ類は安全ですか？
  11. 愛知万博について
  12. 熱帯林の減少

【評価方法】 レポートと出席にて総合的に評価する。

【テキスト】 授業中にプリントを配布すると共に参考図書については授業で指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06341	生命と環境 (環境保護の法的問題)	選必	春学期	2	1~4	丸山 雅夫	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 わが国は、公害を克服した数少ない国として世界的に高い評価を得ている。しかし、他方では、地球の温暖化問題に代表されるように、世界の国々は地球的規模での深刻な環境悪化の危機にさらされており、わが国もその例外ではない。こうした状況においては、環境そのものに対する積極的な保護が必要とされることになる。本講義は、このような状況を意識したうえで、水、大気、自然、原子力といった具体的な場面を対象として、主として法的観点からの環境保護のあり方について考察する。

- 【講義計画】
1. 公害・環境問題の歴史
  2. わが国における公害取締法制
  3. 公害裁判と公害の民事的救済
  4. 公害に対する刑事的対応
  5. 環境法総論 1：環境権理論
  6.        "      2：環境保護裁判
  7.        "      3：わが国の環境法制
  8. 環境法各論 1：水環境の法的保護
  9.        "      2：大気環境の法的保護
  10.       "      3：廃棄物と環境
  11.       "      4：原子力と環境
  12. 環境法制の将来

【評価方法】 期末試験の成績による。

【テキスト】 特に指定しない。毎回、レジュメを配付し、それにもとづいて講義を行う。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
06351	生命と環境 (生命倫理)	選必	未定	2	1~4	未定
他の科目との関連						履修対象学科 全

【講義内容】 現代の技術社会において、人間の生・死・健康への先端医療技術の介入はとどまるところを知らないかのように進み続けているが、他面で、それは人類の歴史において未だかつてなかった問題を多く提起している。本講義では、脳死・臓器移植、死の自己決定権、生命の選択などの諸問題を考える「生命倫理学」を紹介し、さらにそれを通路にして、人間と自然（環境）と技術との関わりを検討する。

## [知識言語と情報社会]

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
06501	知識・言語と情報社会（社会現象とOR）	選必	春学期	2	1~4	澤木 勝茂 鈴木 敦夫
他の科目との関連						履修対象学科 全

【講義内容】 (概要) 実社会の中でORの考え方、手法がどのように用いられているかを文系の学生にも分かり易いように極力数式を使わずに解説する。具体例を中心にORの考え方の中心である最適化の概念、またその実現法を説明する。その際、手法の説明は主として図表を用い、文系の学生にも理解できるようにする。  
(オムニバス方式)  
(鈴木敦夫) ポストや学校などの施設を建設する時に、ボロノイ図という幾何学図形を使った数理モデルを考えることができる。ボロノイ図の解説から始め、施設配置問題にどのように応用するか、実例を用いて解説する。  
(澤木勝茂) 航空サービス産業の規制緩和により、航空会社をとりまく環境は大きく変化しつつある。ここでは、航空料金の価格差別化と収益管理の理論と実態について解説する。

【講義計画】 ◎最適配置の数理（鈴木敦夫）（講義回数6回）  
初回はコンパスと三角定規を持参すること。  
(1) ボロノイ図  
(2) ポストの配置問題  
(3) 学校区の問題、バス停の問題  
(4) 移動施設の配置問題  
◎航空サービス産業の規制緩和とOR（澤木勝茂）（講義回数6回）  
航空料金の自由化にともない航空会社はもはや単一の料金制の下で航空券を販売しない。同一の質の座席クラスに対して異なる選好を持つ種々の乗客が存在するため、航空会社は広範囲な種類の航空券を販売している。この講義では6回にわたって航空料金の価格差別化と収益管理の理論と実態について以下の項目を1、2回ずつ講義する。  
(1) 航空料金の経済学と料金設定の現状  
(2) 旅客の選好と旅行需要  
(3) 航空会社の座席管理による予約システム  
(4) 航空会社の収益管理

【評価方法】 各担当者が課すレポートによる。

【テキスト】 講義中にプリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06511	知識・言語と情報社会（情報倫理）	選必	秋学期	2	1～4	高見 勲	
他の科目との関連						履修対象学科	全

**【講義内容】** 情報社会における根源的問題の一つは、知的財産権の保護のあり方である。この講義では、「ソフトウェア」を例にとって、知的財産権の保護の過去、現在、未来について展望を試みる。具体的には、ソフトウェアの著作権法による保護、特許法による保護の状況について、その概略を述べた後、カーマーカーの線形計画法特許に焦点を絞って、法律家と技術者たちの考え方を説明し、ソフトウェア／アルゴリズムの権利保護の難しさを浮き彫りにする。

- 【講義計画】**
1. 情報化社会と情報倫理  
：情報技術が生み出した問題、情報倫理の必要性と対象、情報倫理と社会環境
  2. 知的財産制度とその保護制度  
：知的財産制度の背景・目的、知的財産保護制度（工業所有権、著作権）
  3. ソフトウェアと知的財産  
：ソフトウェアに係わる知的財産、法的保護の歴史、著作権によるソフトウェアの保護、工業所有権によるソフトウェアの保護
  4. ビジネス方法特許  
：ビジネスモデル特許の背景、本質、課題、日本・米国の動き、高度情報ネットワーク社会における特許制度
  5. 知的財産権と技術—カーマーカー法特許—  
：カーマーカー法特許、カーマーカー法特許する経緯・背景、カーマーカー法特許におけるソフト特許の取扱

**【評価方法】** 定期試験、レポート等により総合的に評価する。

**【テキスト】** プリント等を適宜配布する

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06521	知識・言語と情報社会（知識と意識）	選必	春学期	2	1～4	中島 靖次	
他の科目との関連						履修対象学科	全

**【講義内容】** 20世紀の思想対象の変遷は、意識を言語（あるいは言語的なもの）の構造によって解体する過程であり、いわば、意識を「言語を介して意識を尽くす」＝「知り尽くす」という欲望の実現と言い換えることもできる。しかし実際このことは可能であろうか。この意識の自己関係を解体するということが、それほど容易ではないところにこそ「心」の存在の問題もある。本講義では、意識の構造についてのさまざまな捉え方を検討し直すことによって、「知識と意識」の本質とその関係について考察していく。

- 【講義計画】**
- 第1回：テーマ「知識と意識」の概説
  - 第2回：近代知の生成とその構造概説
  - 第3回：ルネサンス以前の知の様相
  - 第4回：ルネサンス以前の知の様相2
  - 第5回：科学革命における知の変容
  - 第6回：科本革命における知の変容2
  - 第7回：近代知の構造
  - 第8回：自我および自己意識について
  - 第9回：自我および自己意識について2
  - 第10回：言語と認識
  - 第11回：言語と認識2
  - 第12回：「知識と意識」と存在について

**【評価方法】** 必要に応じて実施する小テストと定期試験による。

**【テキスト】** 大森荘蔵著『知の構築とその呪縛』（ちくま学芸文庫）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06531	知識・言語と情報社会 (偶然の中の規則性)	選必	秋学期	2	1~4	松田 真一	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 世の中には情報が溢れている。現代人にとって必要なことは、多くの情報の中から重要な情報を抜き出して上手に活用することである。しかし、情報の中でも比較的多い数値情報に限ってみても、その重要性を判断するだけでも容易でないことが多い。この講義では、難解な数学的アプローチは避け、身近な題材で情報判断の基準（偶然の中の規則性）の解説を行うことを目的とする。

【講義計画】

- 第1回 偶然とは何か（乱数編）
- 第2回 ジンクスについて その1
- 第3回 ジンクスについて その2
- 第4回 情報を数値で表す
- 第5回 偶然とは何か（ゲーム編） その1
- 第6回 偶然とは何か（ゲーム編） その2
- 第7回 降水確率とは その1
- 第8回 降水確率とは その2
- 第9回 平均や偏差値について その1
- 第10回 平均や偏差値について その2
- 第11回 視聴率とは その1
- 第12回 視聴率とは その2

【評価方法】 定期試験6割、出席とレポート4割で評価する。レポートは基本的に時間内に提出してもらう形式であるので出席しないと評価はない。

【テキスト】 特になし。必要ならばこちらでプリント等を準備する。ただし、実験で利用するので、常にトランプの準備を必要とする。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06541	知識・言語と情報社会 (翻訳と理解)	選必	秋学期	2	1~4	服部 裕幸	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 翻訳とは何か、ある人やある国の文化を理解するとはどういうことか、といった問題を、俳句や詩の翻訳の可能性、コンピュータ・システムによる自動翻訳の可能性とその問題点、言語行為論、会話の含意の分析、言語と文化の関係についてのサビアやウォーフの仮説などのトピックスをとりあげ、言語・世界・知識の相互関係を概説することによって論ずる。

【講義計画】

- 序論 素朴なモデル（暗号解説モデル）  
素朴なモデルを用いて翻訳や理解を考えるのは適切でない、ということを示すのがこの講義の目標
- 1 翻訳の話から意味の話へ
- 2 存在者としての意味というはあるのだろうか？
- 3 根源的翻訳と翻訳の不確定性
- 4 言語と世界についての素朴なモデルとそれからの脱却
- 5 サビア=ウォーフの仮説  
文化が言語を規定するのか、それとも言語が文化を規定するのか？
- 6 文の意味の理解から発話の解釈へ
- 7 会話の含意の分析
- 8 言語行為論  
話すということは、ある特別な意味において、それ自体ある種の行為をなすことでもある。
- 9 古典的A I研究はなぜうまくいかないのか  
「時蠅は矢を好む。」
- 10 翻訳と翻案はどう違う？
- 11 理解と受容 相互交流・自己変革過程としての翻訳過程

- 【評価方法】 定期試験による。
- 【テキスト】 特に用いない。適宜、プリント資料を配布する。
- 【その他】 参考文献（入門書ではないので、決して手軽に読めるとは期待しないで下さい。）  
 クワイン『論理的観点から』勁草書房（2.3.に関連）  
 クワイン『ことばと対象』勁草書房（3.に関連）  
 ウォーフ『言語・思想・現実』講談社学術文庫（4.5.に関連）  
 グリーン『プラグマティックスとは何か』産業図書（6.7.に関連）  
 山梨正明『発話行為』大修館書店（8.に関連）  
 ヴィノグラード、フローレス『コンピュータと認知を理解する』産業図書（9.に関連）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06551	知識・言語と情報社会 (言語と表現)	選必	春学期	2	1~4	久保 萬里子	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【副題】 音声への多角的アプローチ

【講義内容】 高度経済成長により世界の舞台に立たされた日本人の最大の弱点は言葉であり、根本的な言語・思考体系を確立し、普遍的な言語感覚を身につけることが重要だと言われている。言語には人間社会における符号としての機能だけでなく、人間の精神生活を支える言葉、ロゴスとしての機能もある。従って、音声と感性、知性、創造性も含まれ、そうしたものを体現する「語り」や「朗読」を取り上げる。歴史ならびに人類学的な視点からも音声による表現を概観し、その意義を探りながら、現代の音声表現のあるべき姿を求め、朗読の実際を体験する。

【講義計画】

	(講義)	(演習)
第1回：	序説：音声について	呼吸と発音
第2回：	かたり物（歴史的考察）	注意すべき発音
第3回：	声の持つ意味（人類学的考察）	アクセント
第4回：	マザー・グース：伝承童謡の世界	間
第5回：	民話とストーリー・テリング	地の文と会話文
第6回：	〈発表会〉	
第7回：	語るということ（パート1）：その実際	メリハリ
第8回：	語るということ（パート2）：身体との関係での理論	表象と感情、音声解釈
第9回：	音、聴覚、聴くということ	自己表現の音声化
第10回：	音声に伴う言語外表現と文化	批判的味読
第11回：	群読	
第12回：	〈発表会〉	

【評価方法】 研究レポートと音声表現の発表及び各講義における参加、活動の状態による。

【テキスト】 プリント教材

【その他】 演習も含まれ、皆出席が望まれる。

### 【モダンの系譜】

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06701	モダンの系譜 (国民国家の諸問題)	選必	秋学期	2	1~4	野田 宣雄	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 現在の世界でグローバル化にともなって国民国家の枠組みが揺らいでいる現状をふまえ、英仏独などの

主としてヨーロッパ諸国に関して、国民国家の成立から現在にいたるまでの歴史を考察する。その過程で、ヨーロッパとの比較において、日本や中国などのアジア諸国の問題にも触れる。

- 【講義計画】
1. グローバル化と国民国家の危機
  2. 国民国家のモデルとしての英仏
  3. 国民国家の擁護論と没落論
  4. 19、20世紀の国民国家
  5. 歴史から見た帝国
  6. 日本の置かれた状況

【評価方法】 成績は出席状況、筆記試験の成績等を参考にしてきめる。

【その他】 参考文献 野田宣雄著『20世紀をどう見るか』（文春新書）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06711	モダンの系譜 (近代女性思想)	選必	秋学期	2	1~4	浜名 優美	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 社会学、歴史学、カルチュラル・スタディーズ、フェミニズム思想などの成果を視野に入れ、18世紀後半から20世紀末までの代表的な女性思想の理論の総括を行い、現代世界における女性と社会（欧米型の社会とイスラム社会における女性の問題）、女性と文化の現状を確認した上で、従属関係のない未来の男と女の関係はどのように築いていくことができるかを論じる。

- 【講義計画】
- 1 序論——女性学について
  - 2 プーラン・ド・ラ・バルの男女平等論
  - 3 ルソー『エミール』における近代的な女性
  - 4 フランス革命期の女性たち
  - 5 19世紀婦人参政権運動
  - 6 ボーヴォワール『第二の性』について
  - 7 フロイトと精神分析における男性中心主義
  - 8 アメリカのウーマンリブについて
  - 9 女性解放のさまざまな理論と運動
  - 10 先進諸国の男女平等実現と今後の問題
  - 11 第三世界の女性たち
  - 12 総括

【評価方法】 レポートによる。(欠席過多を適用する)

【テキスト】 参考文献として、棚沢直子編『わたしのフランス思想』勁草書房、イリガライ『差異の文化のために』（浜名優美訳）法政大学出版局ほか。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06721	モダンの系譜 (近代科学史)	選必	秋学期	2	1~4	大野 誠	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【副題】 「科学革命」を読み解く

【講義内容】 現代科学の基礎となった「科学革命」に焦点をあわせ、自然観がどのように変遷したかを、革命の担い手たちが残した文書に当たりながら検討する。まず、ルネサンスから現代までの科学の大まかな歩みを概観したのち、「革命」前のアリストテレスの自然学や魔術・錬金術の思想を取り上げる。「革命」期については、コペルニクスによる地動説の論証、ケプラーの幾何学的宇宙観、ガリレオにおけるキリスト教と科学、デカルトやボイルによる機械論の提唱、ニュートンの自然観とその社会思想への影響、啓蒙主義の精神を取り上げる。

- 【講義計画】**
- 第1講 科学のダイナミックス：科学理論はどのように発展したか
  - 第2講 近代科学の成立：その概観
  - 第3講 アリストテレスの自然観
  - 第4講 コペルニクス以前の天文学
  - 第5講 地動説の論証
  - 第6講 ケプラーの『宇宙の神秘』
  - 第7講 ガリレオにおける科学と宗教
  - 第8講 自然魔術・錬金術
  - 第9講 デカルトと機械論
  - 第10講 ニュートンの自然観
  - 第11講 社会的イデオロギーとしてのニュートン思想
  - 第12講 啓蒙主義の精神：『百科全書』の扉絵を解説する

**【評価方法】** 定期試験による。

**【テキスト】** 大野誠編著『科学史へのいざない——科学革命期の原典を読む』（南窓社）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06731	モダンの系譜 (科学技術論)	選必	秋学期	2	1~4	小林 傳司	
他の科目 との関連						履修 対象学科	全

**【講義内容】** 近代化に果たした科学の役割を、19世紀の科学の職業化のもたらした知的生産システムの制度的変容を中心として概観し、日本における科学の受容のもつ歴史的意義を考察する。また、現代科学技術の進展に伴う専門家と一般市民の関係という先進産業社会にとって重要な現代的課題についても具体的に検討する。

- 【講義計画】**
1. 序論 「豊かさ」の条件としての科学技術
  2. 近代科学の誕生——ヨーロッパの自然哲学
  3. 科学の職業化——科学者の誕生
  4. 科学・技術と近代国家の結合——戦争、産業、国家
  5. 日本の科学受容1——西洋の文明装置としての近代科学
  6. 日本の科学受容2——近代科学の「世界」科学化
  7. 日本の科学受容3——日本の条件
  8. 現代科学の変容1——アメリカ科学
  9. 現代科学の変容2——リスク社会
  10. 専門家と素人1——テクノクラシー論
  11. 専門家と素人2——新たな合意形成に向けて
  12. まとめ

**【評価方法】** 筆答による定期試験を原則とする。  
適宜、アンケート・小テストを実施する。

**【テキスト】** 特に使用しない。  
適宜、資料を配布すると共に、参考文献を指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06741	モダンの系譜 (社会科学のパラダイム)	選必	春学期	2	1~4	高橋 潔	
他の科目 との関連						履修 対象学科	全

**【講義内容】** 本講義では、社会科学の中でもとくに心理学と経済学に焦点をあて、それぞれの個別科学の認識枠組・方法論がどのような特徴をもって対比されるか、歴史的にどのように推移してきたか、これらの領域が学際的に協調すべき問題は何かということを議論する。そして、企業組織自体や組織の中で働く人々に関わるいくつかのトピックやテーマに関して、これらの社会科学が担っている意義と役割について理解を深め

ていく。

- 【講義計画】
- 1 科学のパラダイム：自然科学と社会科学
  - 2 経済学とは何か：目的、対象、方法論
  - 3 ミクロ経済学：市場のメカニズム
  - 4 マクロ経済学：経済全体の動き
  - 5 心理学とは何か：目的、対象、方法論
  - 6 知覚心理学：外界との接点
  - 7 発達心理学：生まれてから大人になるまで
  - 8 性格心理学：性格の見方
  - 9 臨床心理学：心の闇と病
  - 10 産業・組織心理学：経済活動との接点
  - 11 経済学と心理学の接点

【評価方法】 定期試験による

【その他】 参考図書  
 西村和雄「まんがDE入門 経済学（第2版）」日本評論社 1999  
 中谷 巖「痛快！経済学」集英社インターナショナル 1999  
 詫摩武俊「心理学（改訂版）」新曜社 1990  
 和田秀樹「痛快！心理学」集英社インターナショナル 2000

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
06751	モダンの系譜 (労働観の変遷)	選必	春学期	2	1~4	藤原 道夫	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 現代の日本の経済・社会の中での、「勤労者像」や「勤労意識」の変遷について講義する。戦後の混乱期の後に、勤勉で会社中心の意識が広く見られるようになり、1980年代の後半にはそのような勤労意識が拡散し弛緩した過程と要因について、企業経営の側面と勤労者の側面から分析する。

- 【講義計画】
1. 現代社会における労働
  2. 人びとは「何のために働く」のか？
  3. 戦後の混乱期の労働観
  4. 労使関係の再編と高度経済成長
  5. 企業・企業別組合の凝集性の要因
  6. 減量経営（第一次オイルショック後）による動揺
  7. 「ゆとりの時代」の家族・会社・地域
  8. 個別管理の進展と労働観
  9. 「危機」の認識と労働観
  10. 個人のキャリアと労働観
  11. 勤労意識の弛緩と拡散
  12. まとめ

【評価方法】 宿題20%、定期試験80%

【テキスト】 講義の中で、必要に応じ資料を配布したり参考文献等を指示したりする。

【その他】 参考書 次の書物は繰り返し言及するので用意しておくことを薦める。  
 田尾雅夫『会社人間はどこへいく～逆風下の日本的経営のなかで～』（中公新書）中央公論社、1998年。  
 渡辺深『「転職」のすすめ』（講談社現代新書）講談社、1999年。

## 6. 分野科目

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
07001	哲学	選	秋学期	2	1~4	中島 靖次	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【副題】 迷宮としての〈わたし〉

【講義内容】 われわれは「自ら考える」という根本的行為によって、人間としてよりよく生きることを実践していく。本講義では、「わたし」の存在について考察する。「わたし」とは、日常ごく当たり前のこととして熟知されていると考えられており、そのために、問いの対象には決してならない。しかし、それを敢えて問いの対象としたとき、われわれの「わたし」がどのような動揺を見せるのかを考察する。

【講義計画】 第1回：〈わたし〉が問題になるとは？  
 第2回：〈わたし〉のパラドクス  
 第3回：〈わたし〉の綻び  
 第4回：〈わたし〉と「もの」  
 第5回：〈わたし〉と世界  
 第6回：恋人という名の〈わたし〉  
 第7回：本当の〈わたし〉  
 第8回：多重人格症と〈わたし〉  
 第9回：身体と〈わたし〉  
 第10回：変身と〈わたし〉  
 第11回：人造人間と〈わたし〉  
 第12回：〈わたし〉・こころとかたち／内と外

【評価方法】 ほぼ毎回提出する小レポートと最終的に提出するレポートによる。

【テキスト】 そのつど、プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
07011	文学	選	秋学期	2	1~4	原田 直枝	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 「文学」を文学＝フィクションという狭義で捉えるのではなく、現実の社会や生活に即した内容の文章、あるいは実用を目的につくられた文章も文学たり得る可能性が十分であることを示す。その材料として杜甫や李白などの中国古典詩文をとりあげ、今日わたしたちの世界における「文学」のあり方とはかなり異なる、中国の古典文化のなかで営まれた「文学」のあり方のはば広さ、奥深さを示していく。

【講義計画】 1 文学のなかに見えるもの——詩人の見た「世界」(1)  
 2 “ (2)  
 3 詩人の見た「世界」Ⅰ——蘇武と李陵 (1)  
 4 “ (2)  
 5 詩人の見た「世界」Ⅱ——唐の辺塞詩 (1)  
 6 “ (2)  
 7 詩人の見た「世界」Ⅲ——李白と杜甫の時代 (1)  
 8 “ (2)  
 9 “ (3)  
 10 詩人の見た「世界」Ⅳ——中華の外の世界 (1)  
 11 “ (2)  
 12 “ (3)

【評価方法】 定期テストの結果を重視する。授業への欠席が1/3を超えた者は、S評価とする。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
07021	日本史	選	春学期	2	1～4	青山 幹哉	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【副題】 列島を移動する中世人

【講義内容】 尾張と伊勢湾を中心とした地域（水域）を中心としながら、列島諸国を駆けめぐった武士・商人・芸能民・遊行僧等の活動について、考察していく。

【講義計画】

1. はじめに——海の時代と陸の時代
2. 伊勢平氏と美濃・尾張源氏
3. 神人・供御人の成立と伊勢湾
4. 尾張国御家人千竈氏
5. 熊野と一遍
6. 伊勢と品川湊
7. 津島天王社と織田氏
8. まとめ

【評価方法】 学期末における筆記試験および随時に課す小レポートにより評価。

【テキスト】 特に指定しないが、参考文献として以下の書を挙げておく。  
 高橋昌明『清盛以前—伊勢平氏の興隆—』平凡社選書85、1984年  
 森浩一ら編『海と列島文化8 伊勢と熊野の海』小学館、1992年  
 網野善彦『海と列島の中世』日本エディターズスクール出版部、1992年  
 峰岸純夫・村井章介編『中世東国の物流と都市』山川出版社、1995年  
 綿貫友子『中世東国の太平洋海運』東京大学出版会、1998年  
 地域史研究協議会編『情報と物流の日本史』雄山閣出版、1998年  
 その他、授業の中で適宜紹介する。

【その他】 なし

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
07031	美術	選	春学期	2	1～4	遠藤 恒雄	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 西洋の美術は古代における人間主義の美術と中世に成立したキリスト教美術を基軸として展開した。両者は相反する理念を持ちながら互いに競合し、絡み合いながら各時代、各民族の志向する多彩な美の形式を生み出してきた。西洋の美術が近世以降どのような変遷をたどったかを、ルネサンス、バロック、ロココ、近現代の順に、その理念や伝統、それを生み出した社会状況などを通して具体的に明らかにする。

【講義計画】

1. 西洋美術の特質
2. イタリア・ルネサンスの美術
3. 北欧（ドイツ・ネーデルランド）ルネサンスの美術
4. 16世紀ヴェネツィア派絵画
5. マニエリスム様式の美術
6. 17世紀、バロック美術1（イタリア、ネーデルランド、スペイン）
7. 17世紀、バロック美術2.（フランス）
8. 18世紀、ロココ美術
9. 近代美術1、19世紀前半（新古典派、浪漫派、バルビゾン派など）
10. 近代美術2、19世紀後半（印象派、後期印象派、新印象派、ナビ派など）
11. 近代美術3、アール・ヌーヴォーと世紀末芸術
12. 20世紀美術（野獣派、立体派、未来派、表現派、抽象派など）

【評価方法】 出席状況と試験の成績を総合して判定する。

【テキスト】 特になし。

【その他】 参考書 ケンブリッジ 西洋美術の流れ3～8 (岩波書店)

必要に応じて参考書を明示する。講義の進行に則して、普段に画集や作家の伝記、美術全集等に眼を通すことを希望する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
07041	音楽	選	春学期	2	1～4	小林 聡
他の科目との関連						履修対象学科 全

【講義内容】 音楽は、様々な文化において重要な位置を占めてきた。広い視野と教養という観点から、さらに、昨今の芸術への関心の高まりを考えると、音楽に対する理解を深めることは重要であろう。音楽は、また世界の文化を理解するための手がかりを与えてくれる。本講義では、日本の現代音楽、あるいはフランスの古典音楽の鑑賞・考察を通して人間にとっての音楽の意義について考える。

【講義計画】

- 第1回 バロック
- 第2回 古典派
- 第3回 古典派
- 第4回 ロマン派
- 第5回 ロマン派
- 第6回 ロマン派
- 第7回 ロマン派
- 第8回 国民楽派
- 第9回 国民楽派
- 第10回 近現代の音楽
- 第11回 近現代の音楽
- 第12回 近現代の音楽

【評価方法】 成績は出席状況、レポート、小テスト等を参考にしてつける。

【テキスト】 必要に応じ、資料を配布したり参考文献等を指示したりする。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
07051	法学	選	春学期	2	1～4	松倉 耕作
他の科目との関連	民法、憲法、家族法					履修対象学科 全

【副題】 生活と法律

【講義内容】 法治国家としての法律の構造と機能、法的規範の創造と変化などについて概説する。講義の方法としては、具体的な事例に基づいた講義、たとえば交通事故を例にとり行政罰、刑事罰、民事罰が課される、というふうな、将来学生達が接する問題や事件を念頭において、つねに具体的な事例を設定した講義を行う。

【講義計画】

- 1 法律と法学
- 2 具体的な法律問題と解決方法
  - ・ 裁判による解決
  - ・ 裁判外での紛争解決
- 3 家事事件と紛争解決
  - ・ 離婚と家庭裁判所
  - ・ 相続問題の解決
- 4 簡易裁判所と少額訴訟

- 5 時事問題と紛争解決（最近話題の事件を対象とする）、たとえば、
  - ・消費者保護
  - ・自己破産
  - ・交通事故
  - ・悪徳商法
  - ・ドメスティック・バイオレンス
  - ・ストーカー法
  - ・その他
- 6 法律と政策

【評価方法】 テストの点数，レポート，受講態度で評価する。

【テキスト】 『レッスン法学』嵯峨野書院（大学内の「丸善」で入手できる）。  
プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
07061	政治学	選	春学期	2	1~4	深井 慈子 野口 博史	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 既存の政治学理論の総括を行い、「政治はどう動くのか」、「政策はどのように決定されるのか」などの問題の説明を中心に、「人間はどのようにして実際に観察される行動を取るのか」、「人間行動の説明は主に個人のプロパティに帰せられるべきなのか、それとも外因的に規定されるものなのか」、そして「様々な社会現象はそれぞれ何の要因によって生じ、どのような影響を及ぼすのか」という問題を考える。

【講義計画】 この授業では政治学の基礎概念を履修する。学生には毎週、教科書・資料の購読の課題が与えられる。授業は前もって準備された学生の知識を前提として、ディスカッションを交えて行なわれる。

1. 政治学のアイデンティティ（序章）
2. 政治の世界（1章）
3. 政治・経済・福祉（3章）
4. 行政と公共政策（7章）
5. 近代の国際政治と現代の国際政治（9章）
6. グローバル・プロブレマティーク（10章）
7. 政治体制と変動（2章）
8. 政治制度と政治過程（4章）
9. 政党と政党制（5章）
10. 政治意識と政治文化（6章）
11. 集権と分権（8章）
12. 政治学の潮流（11章）

【評価方法】 成績評価の70%は筆記試験、残りの30%はディスカッションへの参加に対する評価による。

【テキスト】 加茂利男、大西仁、石田徹、伊藤恭彦、「現代政治学」（有斐閣アルマ）、東京：有斐閣、1998年。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
07071	文化人類学	選	秋学期	2	1~4	坂井 信三	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 文化人類学は人類の文化と社会の本質を、その多様性と普遍性の両面から追求しようとする学問である。人類は今日地球上でおそらくもっとも幅広い環境に適応して生活している生物である。これは、「文化」をもつことに起因する柔軟性に富んだ適応能力が今日の人類の繁栄を約束したのである。しかしながら現代においては、人類の生活活動の激しい拡大が地球環境を破壊する恐れすら出てきた。講義では、人類の「文化」の本質について論じ、今日人類が置かれている問題状況に深い理解をもつよう指導する。

- 【講義計画】
1. 文化の概念  
進化と文化  
文化概念の変遷
  2. 人類の生活形態  
採集狩猟経済の過少生産構造  
牧畜的世界の構造：人と家畜のかかわり  
農民の社会：人間エネルギーの組織化  
世界システムの中で
  3. 社会の構造  
家族と親族：その役割の変化  
経済の諸相：贈与交換、集中と再分配、市場経済  
政治の諸相：民族の概念、ナショナリズムの諸問題
  4. 宗教と世界観  
人格の概念：「ひと」とは何か  
経験と世界の構成：神話、儀礼、世界観  
世界宗教と現代世界

【評価方法】 定期試験による。

【テキスト】 特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
07081	社会学	選	春学期	2	1~4	松戸 武彦	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 社会は、抽象的に我々の外部に存在するものではない。我々は「社会」の中にあり、また我々の中に「社会」がある。簡単にいえば、社会学は社会的存在としての人間の行為や、バラバラの個人を社会に結びつける要因にその関心を置く。本講義では、特にジェンダーという観点から、日常生活から労働・家族・政治・世界システムまでを論じ、人間の社会的行動を考察する。

- 【講義計画】
1. 社会学の入門の入門 赤ずきんやサザエさんから考える。
  2. 日常性の中の社会現象を探究する。
  3. 社会学の方法を考えてみる。
  4. 社会構造と社会現象をつなげてみる。
- 以上四つの柱に関して、できるだけ具体例を通して考えてみる。

【評価方法】 定期試験、授業への参加度（貢献度）

【テキスト】 松戸武彦他編『変貌するアジアの社会心理』ナカニシヤ出版

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
07091	経済学	選	春学期	2	1~4	若井 隆司	
他の科目との関連	ミクロ経済学、マクロ経済学					履修対象学科	全

【副題】 経済学の基礎的な概念について学ぶ

【講義内容】 経済学の基礎的な知識に基づいて、現代経済の仕組みを理解することを目的とする。前半では、個々の経済主体（家計と企業）の経済行動の分析を対象としているミクロ経済学を中心に、価格機構、効用と需要の理論、費用と供給の理論、不完全競争の理論などを解説する。また後半では、経済全体の動きを考察の対象としているマクロ経済学を中心に、経済循環と国民所得の決定、金融と財政の役割、物価問題とその対策、経済成長、国際経済の諸問題などを解説する。

- 【講義計画】
1. 経済学を学ぶにあたって

- ・経済社会の発展
- ・経済学の系譜
- 2. 価格決定の理論
  - ・価格機構の働き
  - ・需要供給による価格の決定
  - ・需要の弾力性
- 3. 効用と需要の理論
  - ・消費者需要の決定
- 4. 費用と供給の理論
  - ・費用の分析
  - ・収入と利潤
- 5. 不完全競争の理論
  - ・不完全競争
  - ・寡占
- 6. 国民所得の概念
  - ・NNP、GNP、GDP
  - ・貯蓄、消費および投資
- 7. 国民所得決定の理論
  - ・有効需要の原理
  - ・インフレ・ギャップとデフレ・ギャップ
- 8. 物価と所得
  - ・財政政策と金融政策

【評価方法】 定期試験による。

【テキスト】 辻 正次・八田英二著『What's 経済学』有斐閣

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
07101	数学	選	秋学期	2	1~4	春藤 修二	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【副題】 数学を楽しもう

【講義内容】 これまで受けてきた数学教育を受講生自身にまとめてもらうことを目標に、前半は数や図形などのよく知っている対象について考察する。後半はギリシャ数学から現代数学までの数学史の流れを人まかに追う中で‘無限の取扱い’を中心に数学の営みを考える。

- 【講義計画】
1. 数学のイメージ
  2. 数のイメージ
  3. 数体系Ⅰー自然数(1)
  4. 同上(2)
  5. 数体系Ⅱー有理数
  6. 数体系Ⅲー有理数から実数へ
  7. ギリシャ数学における数の扱い
  8. 図形Ⅰーユークリッド「原論」(1)
  9. 同上(2)
  10. 平行線公理と非ユークリッドの世界
  11. 数とは何かーゼノンのパラドクスをめぐって
  12. まとめー数学は役に立つか

【評価方法】 基本的には定期試験によるが、数回レポート(授業内容の感想など)を出してもらい、評価に加味する。

【テキスト】 なし。吉田洋一「零の発見」(岩波新書)を参考に用いる。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
07111	物理学	選	春学期	2	1~4	馬宮 孝好	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【副題】 物理学のなりたち。(物理学の法則がどのように発見されたか、またその法則がどのような事柄に適用されているか)

【講義内容】 自然現象は物理法則によって説明され、また物理法則を使って技術が創り出されている。物理の基本法則と物理的な考え方を解説するとともに、物理法則が自然現象や技術とどのように関連しているかを述べる。物理学の基本法則については、力学と電磁気学を中心に講義する。力学では運動方程式をもとにして物理の考え方を解説する。電磁気学では電場と電磁誘導の概念を中心に講義する。物理法則の具体例や身近な生活における応用などを述べて、物理的な考え方が重要であることを講義する。

- 【講義計画】
1. ニュートンの法則
  2. 仕事とエネルギー
  3. 角運動量
  4. 剛体の運動
  5. 熱力学の法則
  6. エントロピー
  7. 静電気 ガウスの法則
  8. 電流と磁場 アンペールの法則
  9. 電磁誘導
  10. 交流回路
  11. 電磁波 マクスウェルの方程式
  12. 現代物理

【評価方法】 成績は出席状況、レポート、定期試験を参考にしてつける。

【テキスト】 渡辺昌昭著「大学教養 わかりやすい物理学」共立出版

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
07121	生物学	選	秋学期	2	1~4	江田 信豊	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 今から40億年前、地球に誕生した最初の生命体はどのようなものであったのだろうか。最初の魚類はどのような形態をしていたのだろうか。魚類は両生類に進化することにより陸上へと進出し、海から陸上への生活圏を拡大した。これは同時に乾燥への適応の挑戦の歴史でもあった。一方、無脊椎動物の昆虫類は外骨格と翅を持ち、体を小さくするという戦略で、現在の地球に200万以上の種を持つまでに繁栄した。本講義では、この前口動物の代表である昆虫類と後口動物の代表である脊椎動物の進化について考察する。

- 【講義計画】
1. 生命の起源
  2. 地球の大気と海洋の起源  
RNAワールドからDNAワールドへ、アミノ酸からタンパク質へ
  3. 地球の大気と海洋の起源  
ラン藻類の出現がもたらした地球環境への影響
  4. 原核生物から真核生物へ
  5. 魚類の出現とその進化
  6. 海から陸へ
  7. ジュラシックワールド  
恐竜の作り方教えます！
  8. 恐竜の絶滅
  9. 哺乳類の適応放散
  10. 人類の進化
  11. 人類の人類たる由縁 (ホミニゼーション)

12. 性の出現と有性生殖の意義

【評価方法】 定期試験及びショートレポートによる。

【テキスト】 中村 運著「水の生物学」培風館

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
07131	化学	選	秋学期	2	1~4	松本 英二	
他の科目との関連						履 修 対象学科	全

【講義内容】 生物の生存場として、気圏、水圏、固圏がある。大気、水、土壌と生物を結びつけているのは、水、炭素、酸素などの物質である。生物の生存環境としての地球環境を化学の目で捕え、その形成と発展、その巧妙なバランスを明らかにする。

【講義計画】

- 第1回 人間活動と温暖化
- 2 炭素循環
- 3 大気へのCO<sub>2</sub>放出
- 4 大気CO<sub>2</sub>の増加
- 5 海のCO<sub>2</sub>吸収1
- 6 海のCO<sub>2</sub>吸収2
- 7 生物ポンプ
- 8 アルカリポンプ
- 9 環境変動と炭素循環
- 10 CO<sub>2</sub>問題1
- 11 CO<sub>2</sub>問題2
- 12 地球システム

【評価方法】 出席、レポート等を参考にして評価する。

【テキスト】 北野康著「地球環境の化学」(裳華房)

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者	
07141	心理学	選	春学期	2	1~4	神谷 俊次	
他の科目との関連						履 修 対象学科	全

【講義内容】 心理学は「ひとのこころ」の解明を目指す学問である。「知る」「理解する」「学ぶ」「思い出す」「考える」といったこころの働きは心理学の中でも重要なテーマである。近年の心理学では、こころの知的側面に対する認知的アプローチが重視されるようになり、こころの働きの内的プロセスやメカニズムの解明が試みられている。本講義では、認知的アプローチから人間の知や感情の働きに関して講じる。

【講義計画】

- (1) 心理学とは？：こころの捉え方
- (2) 人間理解：赤ちゃん
- (3) 心理学の方法
- (4) パーソナリティ：自己理論
- (5) パーソナリティ：自己理解
- (6) 適応と不適応：アイデンティティ
- (7) 知覚の働き
- (8) 記憶の働き
- (9) 思考の働き
- (10) 感情の働き
- (11) 対人関係
- (12) 社会的行動

【評価方法】 授業中の小レポート、学期末試験により評価する。

【テキスト】 特に指定しない。参考文献を紹介する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
07151	地球科学 1	選	春学期	2	1~4	松本 英二	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 地球環境の変化が社会問題となっている。地球環境の変化を観測データや自然の記録から具体的に明らかにする。地球環境システムの成り立ちを理解するとともに、その人間活動による影響を評価する。

【講義計画】

- 第1回 地球環境論
- 第2回 地球資源問題 1
- 第3回       〃          2
- 第4回       〃          3
- 第5回 地球水問題 1
- 第6回       〃          2
- 第7回       〃          3
- 第8回 地球温暖化 1
- 第9回       〃          2
- 第10回      〃          3
- 第11回 地球システム 1
- 第12回      〃          2

【評価方法】 出席状況、レポート等を参考にして評価する。

【テキスト】 「地球大紀行」(NHK出版)

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
07152	地球科学 2	選	春学期	2	1~4	河室 公康	
他の科目との関連						履修対象学科	全

【講義内容】 地球環境の変化が社会問題となっている。地球環境の変化を観測データや自然の記録から具体的に明らかにする。地球環境システムの成り立ちを理解するとともに、その人間活動による影響を評価する。

【講義計画】

- 第1回 人類社会存続を危うくする地球環境問題
- 第2回 地球システムの形成(1)-先カンブリア紀/カンブリア紀
- 第3回 地球システムの形成(2)-白亜紀/第三紀
- 第4回 地球システムの形成(3)-第三紀/第四紀
- 第5回 地球システムの形成(4)-氷期・間氷期サイクル
- 第6回 地球システムの形成(5)-更新世/完新世
- 第7回 地球システムの形成(6)-地球温暖化
- 第8回 自然環境の現況(1)-大気
- 第9回 自然環境の現況(2)-水
- 第10回 自然環境の現況(3)-土壌
- 第11回 自然環境の現況(4)-森林
- 第12回 総合討論「自然環境の将来」

【評価方法】 出席率とレポートの得点により評価する

【テキスト】 Biogeochemistry-An analysis of global change-  
著者：William H.Schlesinger 発行所：Academic Press, San Diego, USA

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
07161	スポーツ科学論	選	春学期	2	1~4	池上 久子
他の科目との関連						履修対象学科 全

【副題】 スポーツバイオメカニクス

【講義内容】 スポーツにおける身体の動きを力学的に解析することによって、運動中の身体の動きや動作に必要な筋肉の働きについて客観的に理解することができる。力学的に解析するためには、身体やスポーツ用具の動きをビデオやフィルムで記録し、定量的な分析が必要である。歩く、走る、跳ぶ、投げる、打つ、滑る等の運動について解析されたデータを基に身体運動のしくみを力学的、生理学的な基礎知識を活用して、身体運動の原理や法則を理解しようとするものである。運動のしくみを理解することによって、効率のよいスポーツ技術の習得が可能となる。

【講義計画】 第1回：概説、スポーツバイオメカニクスとは、筋の種類と構造  
 第2回：筋収縮の力学、力とパワー  
 第3回：筋のエネルギー、エネルギー供給  
 第4回：筋が発揮する力、運動の司令と調節  
 第5回：身体の構造と運動、運動と力学の法則  
 第6回：運動と力、力と速度の合成・分解  
 第7回：運動量と力積、力学的エネルギーと仕事  
 第8回：重心の求め方、身体重心  
 第9回：スポーツバイオメカニクスの実際  
 1) 歩く 2) 走る  
 第10回：スポーツバイオメカニクスの実際  
 3) 跳ぶ 4) 投げる  
 第11回：スポーツバイオメカニクスの実際  
 5) 打つ  
 第12回：スポーツバイオメカニクスの実際  
 6) 滑る

【評価方法】 成績は、出席状況、コンピュータを駆使して毎週提出を求めるレポート、小テスト等を参考にして算出する。

【テキスト】 資料配付

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
07171	健康科学論	選	秋学期	2	1~4	三浦 修史
他の科目との関連						履修対象学科 全

【副題】 現代人の健康維持にはたす身体運動の役割

【講義内容】 社会の近代化と複雑化にともない、学校、職場、家庭を問わず、色々なストレスが満ち、ストレス病といわれる心身症などの適応障害が増加している。本講義は、変動する現代社会がもたらすストレスとそれらに反応する現代人について具体的な資料を使って考えるとともに、ストレス・マネジメントに果たすスポーツの効果について学習する。

【講義計画】 1. 概説  
 2. リスクファクターと現代人の生活  
 3. リスクファクターと健康生活  
 4. 人口ちよう密化と健康  
 5. 現代社会とストレス  
 6. 高層住宅と健康  
 7. 「優しさ」を考える

- 優しさは本能か！
8. リーダーシップ：部下にストレスを与えない管理職とは？
  9. 嗜好品と生活：酒とアルコール
  10. 女性と飲酒
  11. 女性と喫煙
  12. ストレス・マネジメント：ストレスマネジメントに果たすスポーツの役割

【評価方法】 毎週、小レポートを提出する。

【テキスト】 担当者が資料を提供する。

## 7. アカデミックリテラシー科目

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単 位	年 次	担 当 者	
07501 ) 07512	基礎演習	必	春学期	各2	1	三浦 修史 江田 信隆 若井 隆靖 中山 尚 山田 望 加藤 史 高橋 潔 藤本 潔 野口 史 西脇 純 池上 子 原田 枝	
他の科目との関連						履修対象学科	総合政策

**【講義内容】** 総合政策学部における課題の発見、問題解決のための基礎的作業を修得させることがこの演習のねらいである。文献やデータの調査、資料の収集と整理・加工の仕方、図書館・新聞・雑誌・インターネットの利用法、文献の要約・引用の仕方、参考文献の扱い方、レポート・論文の作成法、口頭発表・討論の仕方などを具体的に教授し、実際にレポートを作成させる。

**【講義計画】** 以下の講義計画は「基礎演習」の標準的な指導目標であり、各担当者により内容や手順が異なることがある。

- 第1回 基礎演習序論（問題発見の第一歩としてのテーマを見つけ出す。たとえばベラスケスの「侍女たち」の絵の解説を通して、画家はこの絵をどのようにして描くことが出来たのかを提起して問題点をすべて列挙する）。
- 第2回 資料調査の技術（課題追求のデータ、資料、文献をどこでどのように探すか。図書館での文献探索実習を含む。和文、欧文の場合。図書館、新聞・雑誌、書籍、メディア、インターネット、聞き取り調査、フィールド観察）。
- 第3回 データ管理法（収集したデータをどのように管理し、どう処理するか。ノートやカードの場合、コンピュータによるテキストデータベースの場合など）。
- 第4回 授業の作法（ノートやメモをどのように作るか、論文試験にどう対応するか）。
- 第5回 要約の作法（テキストの読み方、先行研究の要点提示を学ぶ）。
- 第6回 課題論文の要約実習と講評。
- 第7回 図表や統計の読み方と処理。
- 第8回 論文作成の技術的基礎（レポートの構成、タイトルの付け方、段落や章の概念、括弧の使い方、句読点、注の付け方、引用の出典・参考文献の書き方など）。
- 第9回 書き方の作法（よい文章と悪い文章の例、事実と意見を分けて書く、など）。
- 第10回 口頭発表、ディスカッションの技術。
- 第11回 課題による口頭発表とディスカッションの実習と講評。
- 第12回 総括

**【評価方法】** 授業出席、宿題提出、口頭発表、最終レポートによる総合評価（ただし欠席過多を適用する）。

**【テキスト】** 共通教科書：木下是雄『理科系の作文技術』中公親書、大野晋『日本語練習帳』岩波新書。その他は各担当者が指示する。



- |           |                       |
|-----------|-----------------------|
| 9. 文書処理 3 | 差込印刷、表作成、画像・図の取り込み法など |
| 10. 表計算 1 | 表計算ソフトの概略など           |
| 11. 表計算 2 | 数式、関数の利用法など           |
| 12. 表計算 3 | グラフ作成法など              |

【評価方法】 レポート

【テキスト】 Webによる講義資料

科目コード	科 目 名	指 定	期 間	単 位	年 次	担 当 者
07531 { 07535	コンピュータ基礎演習Ⅱ	必	秋学期	各1	1	児玉 靖司 張 漢明 KEENI Kanad 宮澤 元 蜂巢 吉成
他の科目 との関連						履 修 総合 対象学科 政策

【講義内容】 コンピュータ基礎演習Ⅰの内容をさらに深化する。様々なデータやファイルの形式について学び、コンピュータとインターネットを十分に活用できるようにする。

- 【講義計画】
1. コンピュータ基礎演習Ⅰの復習
  2. Webページの作成
  3. Webページの公開
  4. 高度なWebページの作成
  5. WWWの利用
  6. データベース機能の概要と並べ替え
  7. 抽出
  8. 自動集計とデータフォーム
  9. ピボットテーブル
  10. Power Point (その1)
  11. Power Point (その2)
  12. Power Point (その3)

【評価方法】 レポート

【テキスト】 Webによる講義資料